



Daiichi Life
Group

2026年3月期 第3四半期 決算報告

2026.2.13

第一生命ホールディングス株式会社

目次・為替レート

- 本日のポイント [3](#)
- グループ各社の業績概要 [20](#)
 - DL [21](#)
 - DFL [26](#)
 - NFL [27](#)
 - PLC [28](#)
 - TAL [30](#)
 - DLVN [31](#)
- グループEV [33](#)
- 参考データ [35](#)
 - DL資産運用 [37](#)

為替レート

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2025/12末	156.56円	184.33円	104.82円
2025/9末	148.88円	174.47円	97.89円
2025/6末	144.81円	169.66円	94.50円
2025/3末	149.52円	162.08円	93.97円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/9末	142.73円	159.43円	98.73円
2024/6末	161.07円	172.33円	107.00円
2024/3末	151.41円	163.24円	98.61円

今回決算のポイント

3Qとして過去最高益となる高進捗となり、通期見通しを上方修正

グループ修正利益

2026年3月期3Q累計

4,222億円

グループ修正利益の11月予想 4,700億円に対し、4,222億円(進捗率90%)となり、計画を上回る進捗

グループESR

2025年12月末:概算値

約213%

国内金利の上昇に伴う解約リスクの増加を国内株価上昇等による適格資本の増加で相殺し、2025年3月末比+3%の213%

グループ修正利益

修正予想

5,000億円

DLの順調な利益進捗を踏まえて、今期のグループ修正利益の通期予想を過去最高益となる5,000億円に再度上方修正(11月予想: 4,700億円)

株主還元

1株当たり配当金予想

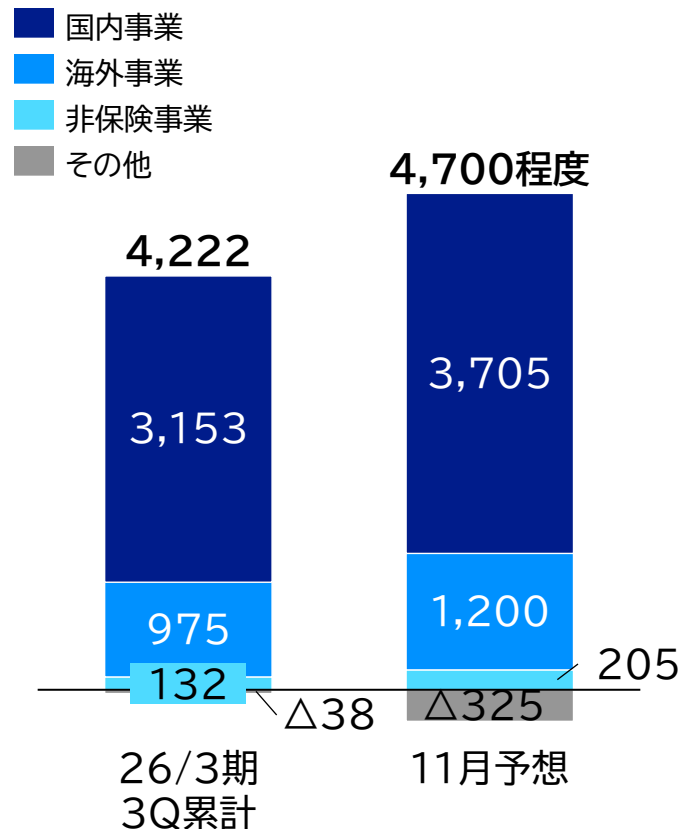
52円

グループ修正利益の通期予想の上方修正により、配当予想を増額(11月予想比:+1円、中間配当24円・期末配当28円)

国内事業・海外事業ともに堅調な進捗

グループ修正利益 予想対比

(億円)


 進捗率
(修正予想対比)

国内事業⁽¹⁾

- (DL) オルタナや投信の利配上振れ等により修正予算を上回る進捗
- (DFL) 3Q時点では低い進捗も、4Qに規制変更に伴う積立て基準の変更により危険準備金などが取り崩れる見込みであり、通期見通しの達成に向けてインライン

85%

海外事業

- (PLC) コスト削減および運用収支改善が寄与
- (TAL) 支払増を一時益が相殺し、概ね予算並みの進捗
- (DLVN) 銀行窓販チャネルのアップフロントフィー⁽²⁾の一部(約80億円)を連結上減損

81%

非保険事業

- (アセットマネジメント事業) 概ね順調な利益進捗も、CPIはパフォーマンス連動の成功報酬が予算を下回る
- (BO) 利益は予算通り進捗

64%

(1) 事業別・通期予想比については、DFL・NFLにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示

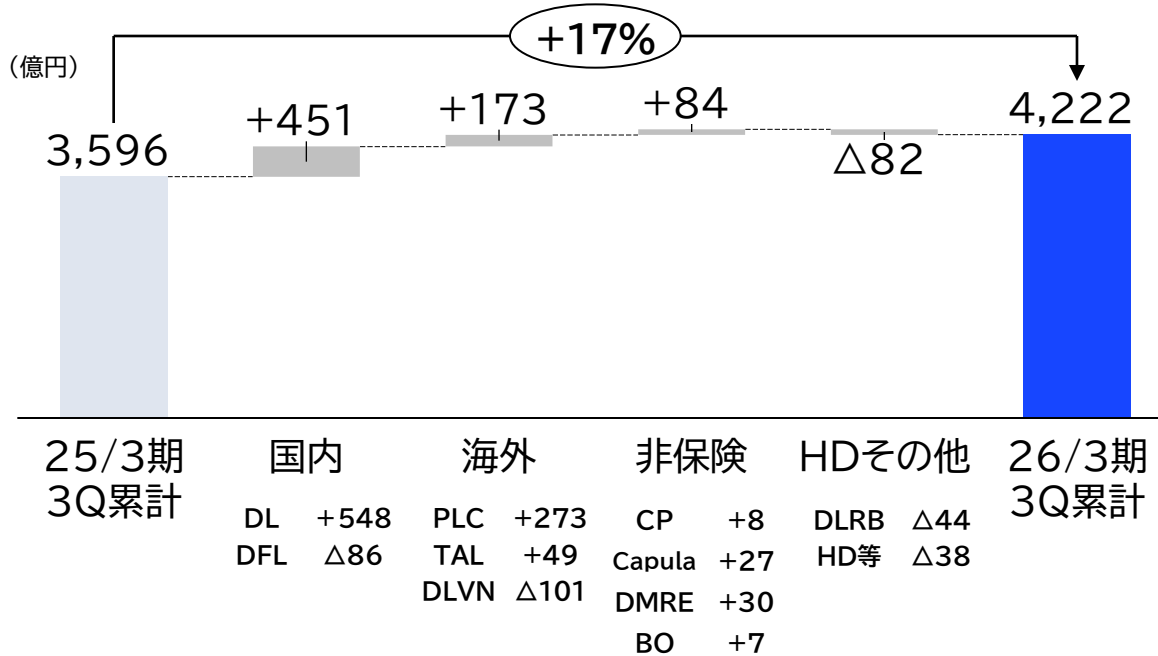
(2) 長期前払費用として計上していたアップフロントフィーについて、HD連結で減損損失を計上。なお、現地会計基準に則り、DLVN個社では減損を実施していない。

前年同期比較



グループ修正利益は前年同期比+17%となり、3Q時点での過去最高益を更新

グループ修正利益・前年同期比増減



26/3期 3Q累計	3,153	975	132	△38	4,222
25/3期 3Q累計	2,702	803	48	44	3,596

国内事業

- (DL) 過年度の順ざや積上げ効果やオルタナ配当の増配等により順ざやが増加した他、有価証券売却益が大幅に増加
- (DFL) 非出再商品の販売増による標準責任準備金積増等の新契約費用の増加等により減益

海外事業

- (PLC) 代理店子会社売却に伴う一時益に加え、コスト削減および運用収支改善が寄与
- (TAL) 支払増の影響を再保険見直しによる一時益や円安影響で相殺し増益
- (DLVN) 銀行窓販チャネルのアップフロントフィーの減損(約80億円)により減益

非保険事業

- (AM事業) DMREの利益貢献開始により増益
- (BO) 子会社化に伴う収益貢献額増加で増益

HD・その他

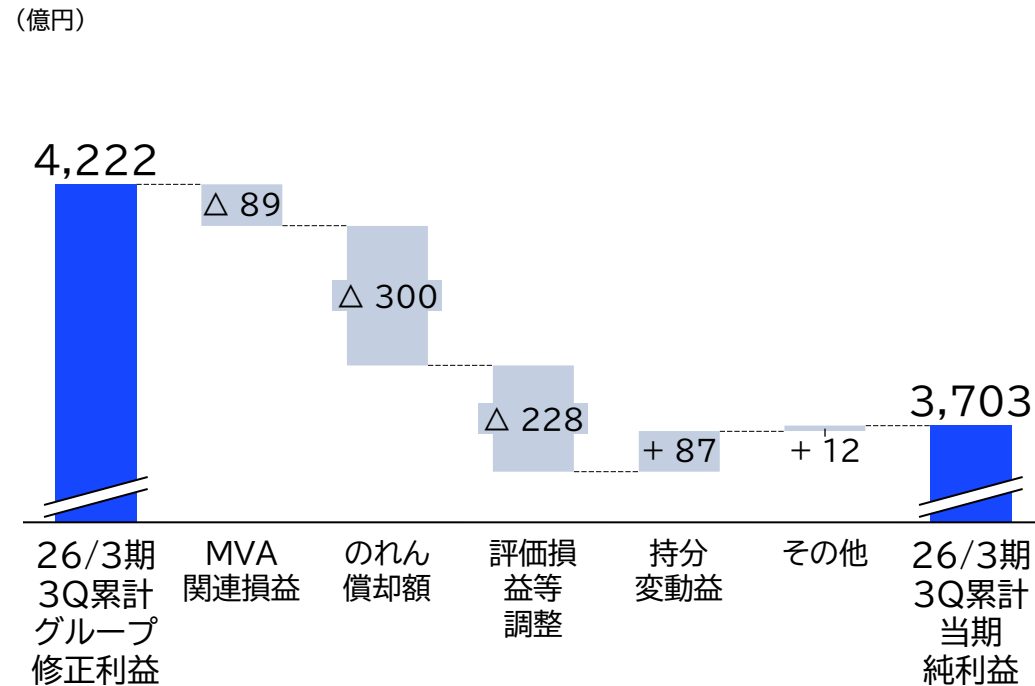
- (DLRB) 社債スプレッド拡大影響は解消も、前年の一時益剥落で減益
- (HD) インフレ影響やコーポレート機能強化に伴う費用増等

修正利益→当期純利益

修正利益と当期純利益の主な差異

- ▶ 会計利益は市場変動等の影響を受けるが、当社の利益創出力は変わらず、グループ修正利益は順調に推移
- ▶ PLCの修正共同保険式再保険(Modco)等の影響による損失が発生し、会計利益は一定の影響を受けるも、当社の本質的な利益創出力には影響はない

修正利益・当期純利益 主な差異要因



	26/3期 3Q(累計)	主な要因
MVA関連損益	△89	-
のれん等償却額	△300	[－] M&A実行による償却額
評価損益等調整	△228	[+] (TAL)信用スプレッドの縮小に伴う評価益増加 [－] (PLC) Modco等に係る損失 等
持分変動益	+87	[+] (DMRE) JV化に伴う影響
その他	+12	

※詳細な組替えは[p49](#)に掲載

国内金利上昇に伴う影響

- ▶ 国内金利の上昇時においてもDL・DFLともに解約率は低位に止まる状況。また金利上昇に伴って変動する負債に合わせて、責任準備金対応債券を機動的に入れ替えることで、順ざやは拡大、ダラーデュレーション比率(マッチング比率)は100%を切る水準に低下
- ▶ 金利のステープニングによりEVは増加。ESRに関しても、金利上昇に伴う大量解約リスクの増加を適格資本の増加で相殺し、安定的に推移
- ▶ 引き続き金利上昇に対応した円建債券の入替え等を通じて順ざやが拡大することで、来期以降も継続的な収益力向上が見込まれる

金利上昇による影響

国内金利の状況⁽¹⁾

	10年	30年
25/3末	約1.5% (+20bps) <	約2.5% (+60bps)
25/9末	約1.7% (+40bps) >	約3.1% (+30bps)
25/12末	約2.1%	約3.4%

資産運用 (DL)

順ざや

詳細: [p9](#)

- 金利上昇に対応した債券入替えにより、円確利ポートの利回りは大幅に改善

当期オペレーションによる効果

+ 約240億円

(当期寄与分 +70億円、来期寄与分 +170億円)

リスク モニタリング

マッチング比率

[p10](#)

- 金利上昇による負債価値変動に対応して、責任準備金対応債券の機動的な入替えを実施
- 債券入替えにより、マッチング比率は25/9末比低下

25/12末

91%

(25/9末比: Δ8%pt)

解約率(DL)

[p25](#)

- 円金利上昇に伴うDL一時払商品の解約率の上昇は限定的
- 保障性商品も含めたDL全体の解約率は概ね横ばい

前年同期比

ほぼ 横ばい

経済価値

EV

[p34](#)

- 国内金利のステープニング化と国内株価上昇により、グループEVは前期末比で約1.5兆円増加

25/12末

約9.6兆円

(25/3末比 +約1.5兆円)

ESR

[p14](#)

- 金利上昇に伴い解約リスク(大量解約リスク)の増加(前年度末比 + 約5,000億円)を適格資本の増加で相殺し、ESRは安定的に推移

25/12末

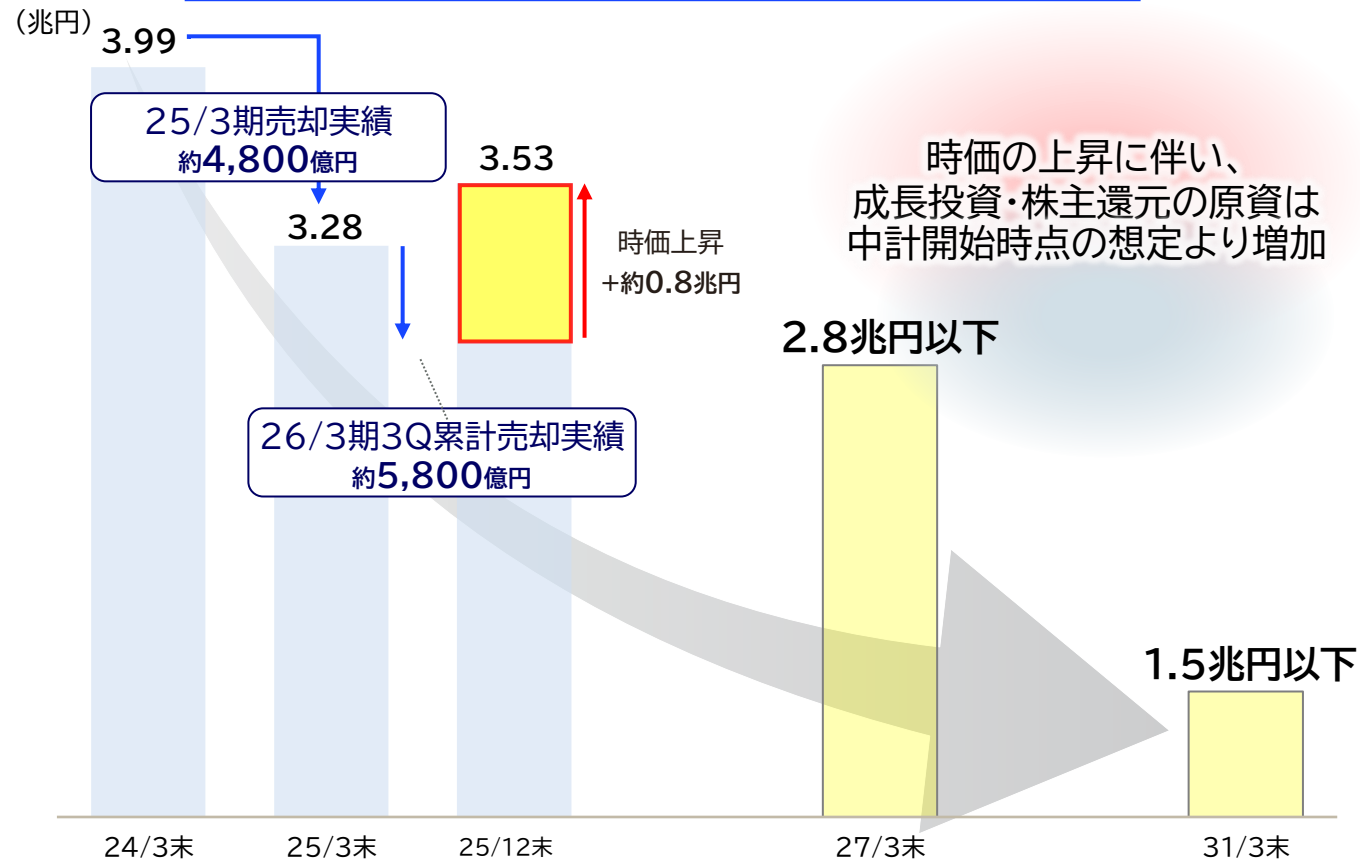
約213%

(25/3末比 +3%)

株価上昇に伴い、国内上場株式の今期売却想定は約8,000億円となる見通し

- ▶ 国内株式の上振れを受けて今期の株式売却額を11月に7,000億円に増額。その後、株式相場は更に上昇し、12月末時点の国内株式時価残高は25/3末時点を上回る約3.5兆円。今期の売却見通しは8,000億円を見込む
- ▶ なお、足元の株価上昇を織り込むと、27/3期の売却額は今期と同額程度を想定

DL国内上場株式残高の推移と見通し



26/3期における国内上場株式の売却見通し⁽¹⁾

11月修正計画

直近見通し

約 7,000 億円 → Update 約 8,000 億円

27/3期における国内上場株式の売却見通し⁽²⁾

26/3期と同額程度

急速な金利上昇・株式売却益の上振れ等を背景に 債券ポートフォリオの入替えを更に加速/順ざやは着実に拡大



- ▶ 国内金利の上昇が継続し、また、株式売却益が上振れたことを背景に、円確定利付資産の入替え規模を11月時点の見通しから増額
- ▶ 金利上昇に対応した入替えオペレーションによる順ざや改善効果は年間240億円程度(うち170億円は来年度寄与)を見込む
- ▶ 来期以降も、金利上昇局面での継続的な入替えを行い、DLの債券ポートフォリオの利回り改善を進めることで、順ざやは着実に拡大する見通し

順ざや拡大に向けた取組み

国内債券ポートフォリオの入替え見通し(2025年度)

入替え対象およびP/L影響

対象:円確定利付資産入替え 1.2兆円程度を想定
(11月想定対比+2,000億円)
入替えに伴う売却損見通し: 約 3,500億円
(11月想定対比+1,500億円)

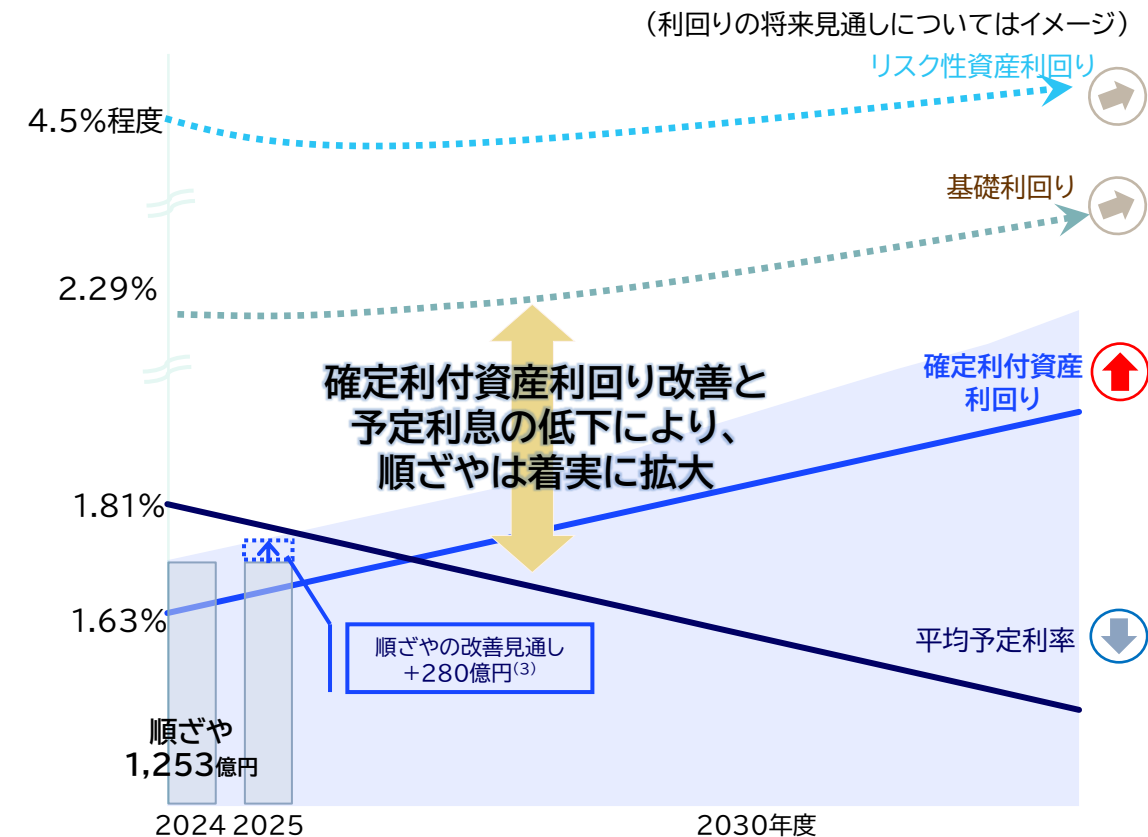
順ざや改善効果
240億円⁽¹⁾/年程度
(うち170億円は来期に寄与)

責任準備金対応債券の減損に関して

責任準備金対応債券の減損については、現時点で想定していない

- ✓ 本日時点においても、減損水準に対しては十分な距離を保てており、再度1月の金利急騰が発生した場合においても、減損は発生しない見通し
- ✓ なお、当社の想定を超える金利の急騰が発生し、一部銘柄の減損抵触水準を超える金利環境となった場合でも、会計監査人と協議のうえで、該当銘柄に関する当社の保有スタンスおよび財務見通し等を明確化することで減損を行わないといった選択肢を取ることもあり得る

[再掲][DL]順ざやと資産別利回り・平均予定利率の推移と見通し⁽²⁾



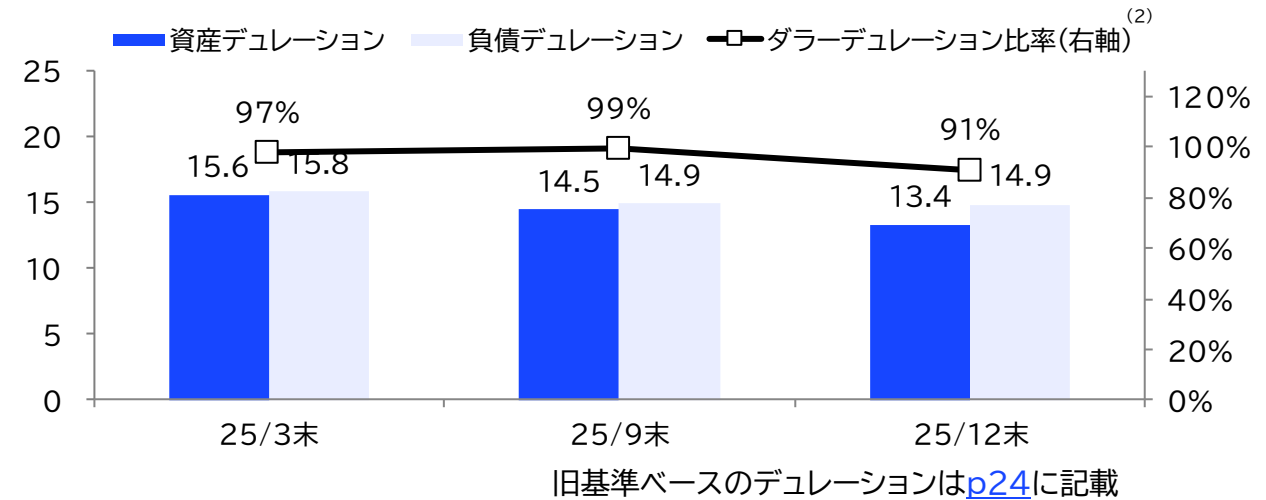
マッチング比率は100%を下回る水準まで低下

- ▶ 資産負債の規模が大きいDLのデュレーション・マッチングの状況は、カーブ形状の変化を含む金利動向や経年効果等によって定常的に変動
- ▶ DLでは資産の大半を入替えが可能な責任準備金対応債券として保有。ダラーデュレーション比率(マッチング比率)は、コントロール可能な範囲内で負債の変動に合わせて機動的かつ柔軟に調整する方針
- ▶ 3Qに実施した責任準備金対応債券の入替えによりマッチング比率は低下。引き続き100%以内にコントロールしつつ、今後のオペレーションを実行予定

資産デュレーションの計測方法

- ✓ 2Q時点において旧基準⁽¹⁾のダラーデュレーション比率は104%であったが、責任準備金対応債券の入替えにより3Q末の同基準で計算したダラーデュレーション比率は99%に低下
- ✓ 資産デュレーションの計測について、従来は、資産毎に計算したDurを加重平均する等して算出。今般、より精緻なALMによって比率を100%以内にコントロールを行う観点から、負債デュレーションの計測と同様に、資産毎のキャッシュフロー展開をベースに計算する方法へ計測方法の見直しを実施
- ✓ 金利リスク管理の観点においては、市場変動などへの対応を目的としてデリバティブによるヘッジポジション等も実施

デュレーションの状況(25/12末:新基準)



(1)一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高。

「ダラーデュレーション比率」は、上記の資産・負債に関して「(資産デュレーション×資産時価)÷(負債デュレーション×負債現在価値)」にて計算。

(2)デリバティブポジションを加味した場合87% (25/12末)

グループ修正利益の通期見通しは、DLの上振れ等により再度上方修正 2025年度DPS予想も引き上げ



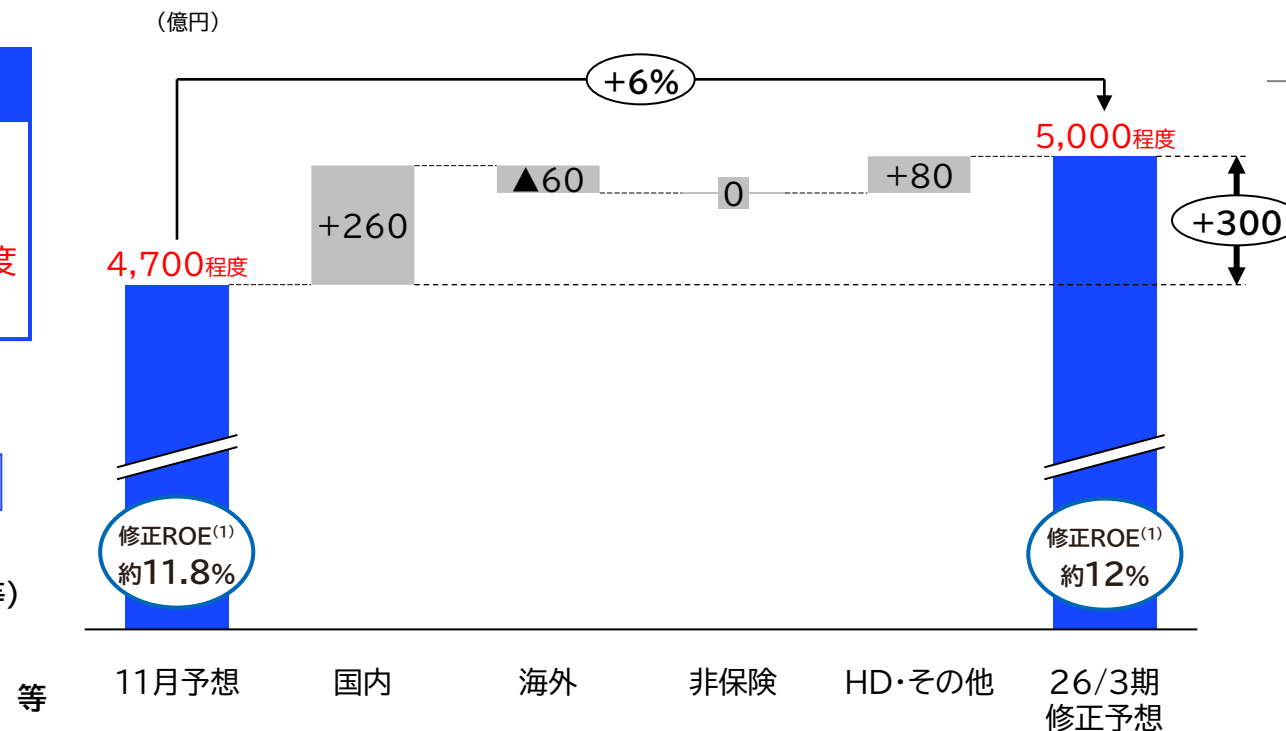
- ▶ グループ修正利益の通期見通しについて、DLの順調な利益進捗を踏まえて、12月末時点の経済環境を前提に5,000億円程度を見込む(11月予想+300億円)
- ▶ 1株あたり配当金予想は、グループ修正利益予想の上振れにより11月修正予想対比で+1円増配の52円を見込む
- ▶ 来期の配当性向に関して、50%に引き上げる方向で検討

グループ修正利益 通期見通しの変動要因



今後の変動要素

- ✓ DLにおける株式売却益
- ✓ 為替変動(在外利益、外貨利配等)
- ✓ 金利変動(円債売却損等)



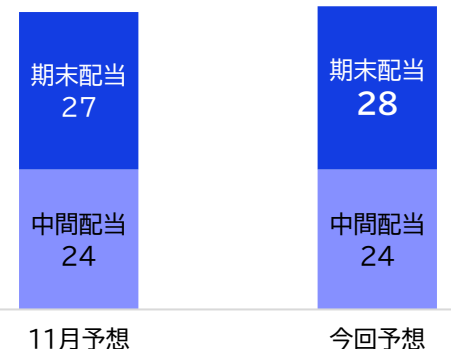
1株あたり配当金予想

(億円)	24/3期	25/3期	26/3期 (今回予想)
修正利益	3,194	4,395	5,000

3年平均 × 配当性向45%

年間配当予想

11月予想 51円	今回予想 52円 (+1円)
--------------	----------------------



<主要子会社別予想については次ページに掲載>

主要子会社別 | 修正利益予想の修正

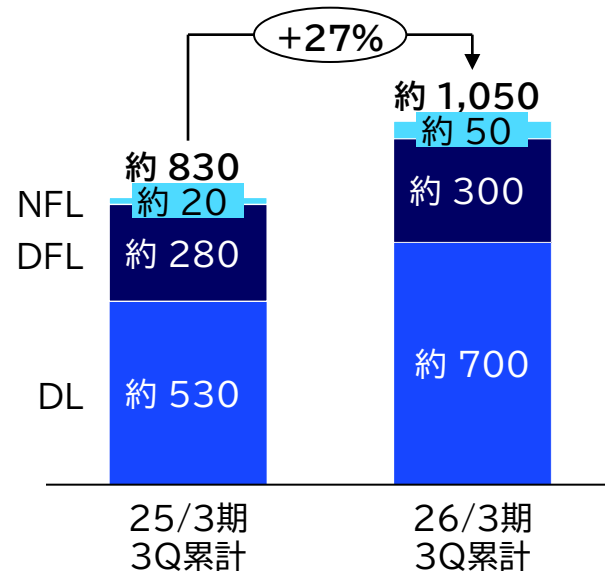
(単位:億円)	11月予想	今回予想	増減額	今回予想における新たな織込要素(今期末まで)	(参考)26/3期 3Q(累計)実績	vs 11月予想	vs 今回予想
第一生命	3,470	3,680	+210	[+] 国内株式売却額の増額 [-] 債券入替え額の増額	2,986	86%	81%
第一フロンティア生命	310	370	+60	[+] ターゲット到達に伴う解約益増	195	63%	53%
ネオファースト生命・ipet	△ 75	△ 75	-	-	△ 28	-	-
PLC	750	790	40	[+] 為替影響(円安ドル高)	601	80%	76%
オセアニア	360	340	△ 20	[-] (TAL)通期支払い見通しの悪化	383	106%	113%
アジア	90	10	△80	[-] (DLVN)アップフロントフィー減損	△7	-	-
アセットマネジメント事業	185	185	-	-	115	62%	62%
ベネフィット・ワン	20	20	-	-	17	85%	85%
DLRB	130	190	+60	[+] 経済環境の変動(米国社債スプレッド縮小)	135	104%	71%
HD・その他	△ 455	△ 435	+20	-	△ 173	-	-
合計	4,700程度	5,000程度	+300		4,222	90%	84%

契約実績(新契約価値、新契約・保有年換算保険料)

- ▶ 新契約価値(国内概算値)は、前年同期比+27%の1,050億円
- ▶ 新契約年換算保険料は、グループ全体で前年同期比3.1%増の4,308億円(為替影響除き2.1%増)。国内は、DFLで円貨建商品の販売が増加。海外は、TALで前期に獲得した大型団体保険の影響が剥落して、為替影響除きで前年同期比21.5%減(為替影響含み18.5%減)

新契約価値(国内概算値)⁽¹⁾

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年 同期比	進捗率 (通期予想)
	約830	約1,050	+220	81%
DL	約530	約700	+170	74%
DFL	約280	約300	+20	100%
NFL	約20	約50	+30	



新契約年換算保険料

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年 同期比
国内4社計	2,665	3,076	+ 15.4%
DL	769	856	+11.3%
DFL	1,752	2,053	+17.2%
NFL	91	114	+25.1%
ipet	53	53	+0.7%
海外6社計	1,512	1,232	△18.5% (△21.5%)
PLC	826	894	+8.1% (+3.7%)
TAL	480	153	△68.0% (△69.9%)
PNZ	34	42	+21.9% (+19.6%)
DLVN	157	119	△24.3% (△22.1%)
DLKH/DLMM	15	25	+64.5% (+57.7%)
第一生命グループ計	4,177	4,308	+3.1% (+2.1%)

保有契約年換算保険料

	25/3末	25/12末	前期末比
	33,198	35,065	+5.6% (+4.3%)
	19,450	19,574	+0.6%
	12,342	14,017	+13.6% (+9.9%)
	1,000	1,036	+3.5%
	406	438	+8.0%
	16,396	17,753	+8.3% (+8.2%)
	8,819	9,387	+6.5% (+13.1%)
	5,694	6,531	+14.7% (+2.8%)
	557	630	+13.0% (+6.0%)
	1,289	1,151	△10.7% (△1.6%)
	37	54	+46.3% (+55.4%)
	49,593	52,817	+6.5% (+5.6%)

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

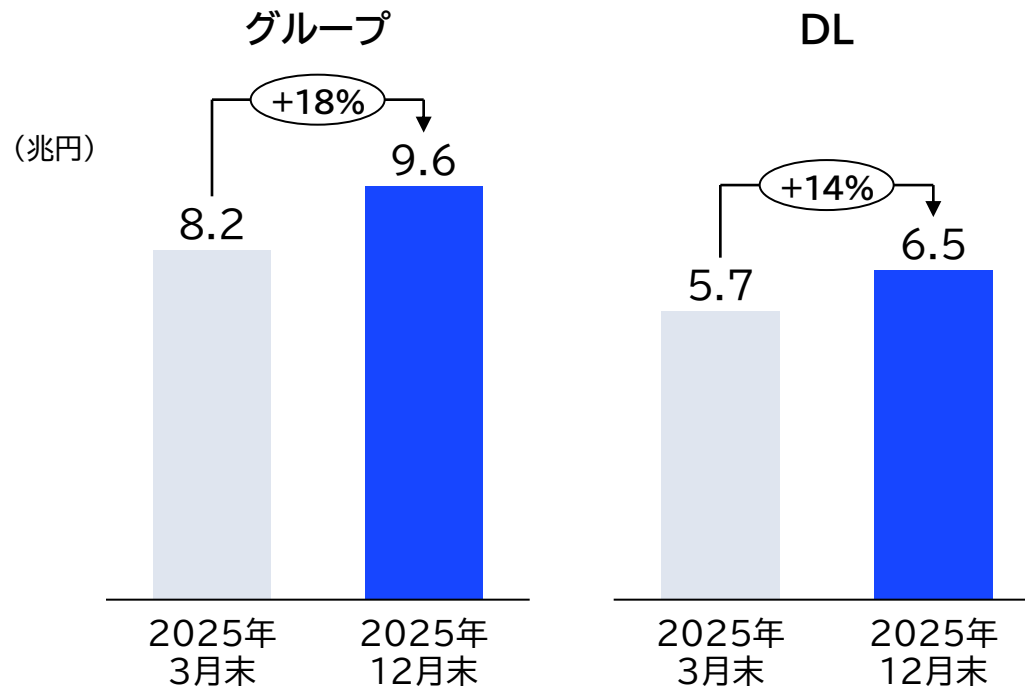
(1)計測対象および計測手法について一部簡便的な取扱を行った概算値

経済価値(EV・ESR)⁽¹⁾

- ▶ グループEVは、DLが保有する国内株式の株価上昇の影響等で前期末比+18%増の約9.6兆円
- ▶ グループESRは、金利上昇による大量解約リスクの増加、株価上昇に伴う株式リスクの増加等により所要資本が増加した一方で、国内株式の上昇、円金利上昇等により適格資本の増加幅が上回ったことから、前期末比+約3%pt増加の約213%

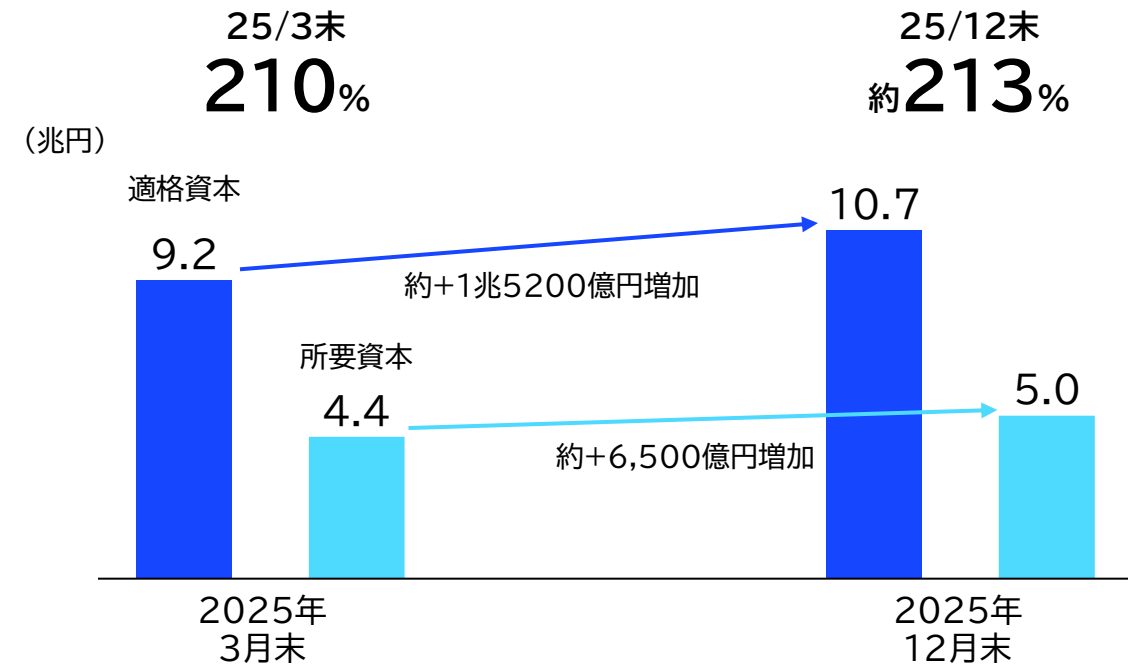
グループEV (概算値)

25/12末 約**9.6**兆円 (前期末比) 約+18%



グループESR (概算値)

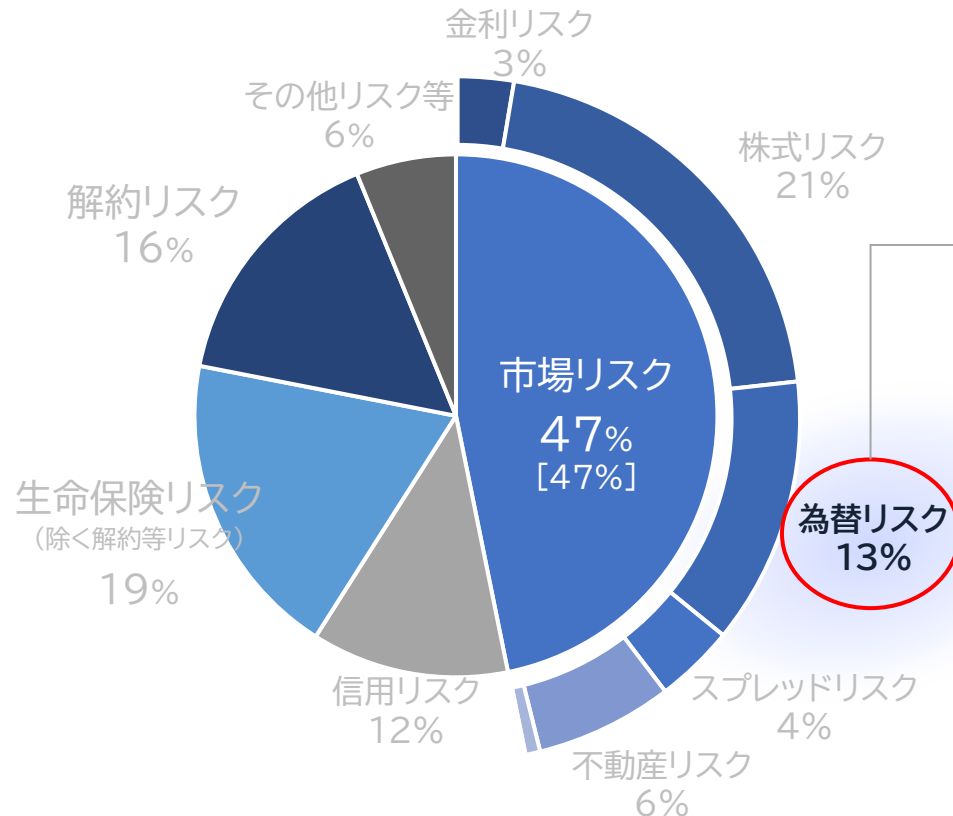
25/12末 約**213**% (前期末比) 約+3%pt



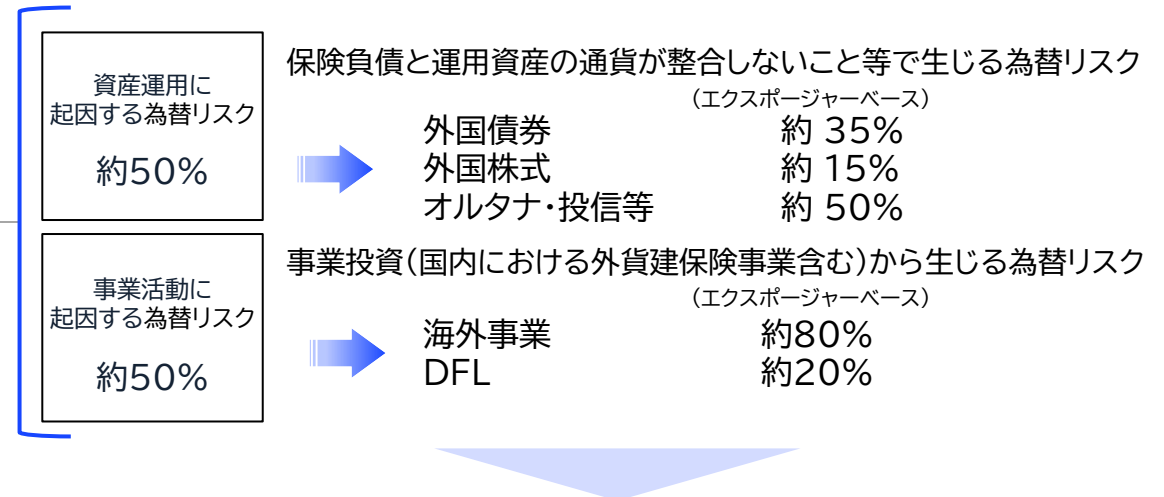
[参考] グループリスクプロファイル (為替リスク)

- ▶ グループリスクプロファイルにおける為替リスク量は、約5割が事業投資起因、残りの5割はDL資産運用における外貨建リスク性資産(オルタナ・オープン外債・海外株式・不動産等)への投資に付随するもの
- ▶ 為替リスクについては、海外事業を含む外貨建事業の拡大に付随するリスク量を踏まえ、グループ全体で適切にコントロールしていく
- ▶ なお、ESRに対する為替感応度については約+0%となっており、為替変動による健全性への影響はほとんどない

所要資本(リスク量)内訳⁽¹⁾(25/9末 分散効果考慮前)



為替リスクの内訳

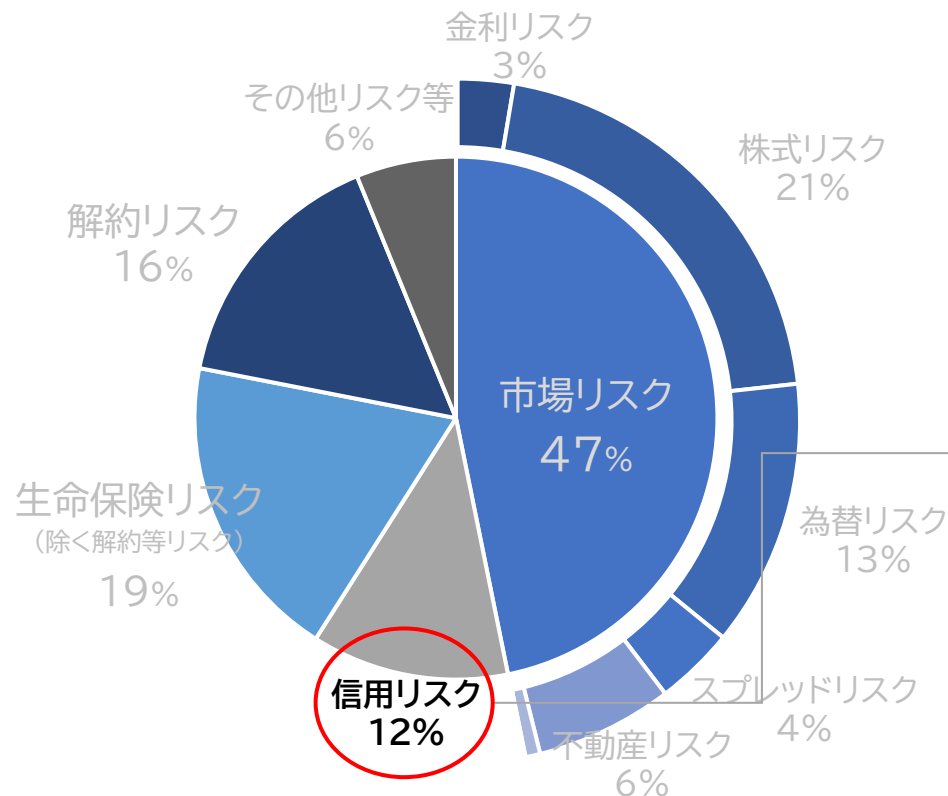


- ✓ 外貨建事業(海外事業含む)の拡大による為替リスクは増加する見通し
- ✓ リスク性資産における為替リスクは、為替リスク以外のリスク・リターンも踏まえつつ、投資可否を判断

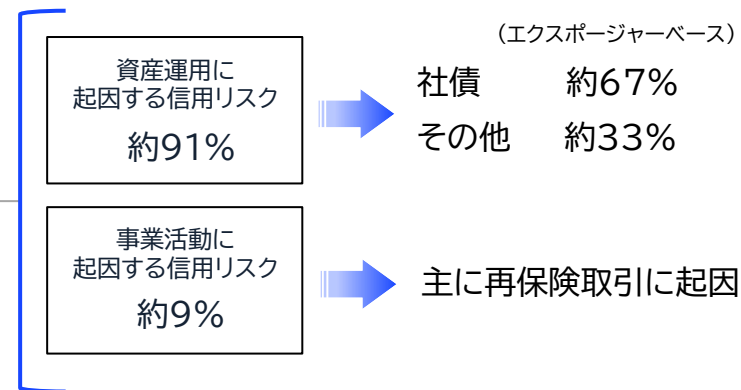
[参考] グループリスクプロファイル (信用リスク)

- ▶ 従来計測していた信用リスクについて、J-ICS規制の導入にあたりリスク計測手法を見直す過程でJ-ICS規制に準拠させることを目的として、信用リスクの区分を変更⁽¹⁾。変更後の信用リスクはJ-ICS規制に整合的な取扱いとして市場リスクの枠外としているが、リスク管理は区分変更にあらず、従来同様、統合的に把握・管理しており実質的な変更はない
- ▶ 信用リスクについて、高格付中心かつ分散の効いたポートフォリオ構成を基本とし、発行体・業種・地域の分散を図りながら運営。信用スプレッド拡大等を想定したストレステストを実施し、経済価値および健全性への影響を継続的に検証し、規律ある運営を徹底

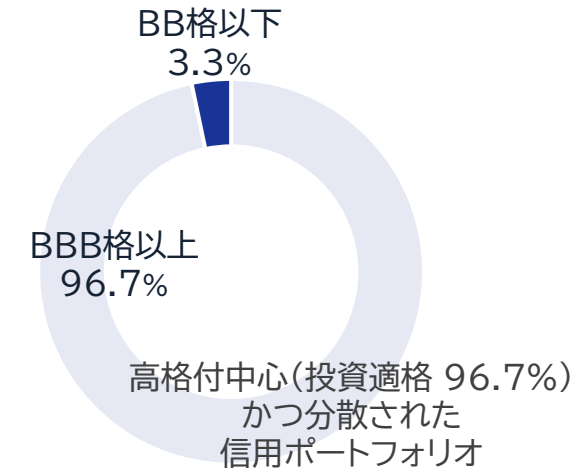
所要資本(リスク量)内訳⁽¹⁾(25/9末 分散効果考慮前)



信用リスクの内訳



格付別信用エクスポージャー⁽²⁾⁽³⁾
(資産運用に起因する信用リスク)



(1) J-ICS基準では、信用リスクの計測対象の一部(スプレッド変動リスク)が市場リスクへ再区分される等、規制上のリスク区分が変更 (2)内部格付ベース (3)モーゲージを除く

2026年3月期 通期業績予想

(億円)	25/3期 3Q(累計)	26/3期 3Q(累計)	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	25/3期 通期実績	26/3期通期予想		業績予想 増減額
							11月公表予想	今回	
連結経常収益	78,397	83,208	+ 4,810	+ 6%	75%	98,733	103,220	110,670	+ 7,450
第一生命	30,782	33,032	+ 2,250	+ 7%	72%	44,150	44,900	46,120	+ 1,220
第一フロンティア生命	27,475	27,849	+ 374	+ 1%	77%	34,957	31,240	36,360	+ 5,120
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	11,047	10,449	△ 598	△ 5%	80%	13,868	14,210	13,120	△ 1,090
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	6,360	6,340	△ 20	△ 0%	79%	8,176	7,950	8,020	+ 70
連結経常利益	5,576	5,977	+ 401	+ 7%	83%	7,191	7,000	7,180	+ 180
第一生命	4,027	4,888	+ 861	+ 21%	77%	5,386	6,040	6,310	+ 270
第一フロンティア生命	426	177	△ 249	△ 58%	41%	499	460	430	△ 30
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	374	238	△ 136	△ 36%	170%	466	290	140	△ 150
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	491	585	+ 93	+ 19%	127%	606	510	460	△ 50
連結純利益⁽²⁾	3,537	3,703	+ 166	+ 5%	91%	4,296	4,000	4,080	+ 80
第一生命	2,428	2,986	+ 558	+ 23%	81%	3,055	3,470	3,680	+ 210
第一フロンティア生命	272	90	△ 182	△ 67%	32%	329	310	280	△ 30
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	304	196	△ 108	△ 36%	163%	389	250	120	△ 130
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	340	425	+ 85	+ 25%	133%	416	350	320	△ 30
グループ修正利益	3,596	4,222	+ 626	+ 17%	84%	4,395	4,700程度	5,000程度	+ 300
グループ新契約価値	-	-	-	-	-	1,724	1,900程度	1,900程度	-
1株あたり配当(円)⁽³⁾						34	51	52	+ 1
(参考)株式分割前						137	204	208	+ 4
(参考)基礎利益	4,338	4,556	+ 218	+ 5%	80%	6,388	5,500程度	5,700程度	+ 200
第一生命	2,340	2,420	+ 80	+ 3%	68%	3,603	3,340程度	3,560程度	+ 220

(1) PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益

(3) 25/3期の1株あたり配当は、株式分割を考慮した換算額。下段は株式分割前の配当金(25/3期は実績、26/3期は換算額)

第一フロンティア生命の減資

- ▶ ソルベンシー・マージン規制が経済価値ベースに移行することに伴い、新規制において求められる資本水準を踏まえ一定の資本解放が可能となるため、関係当局の認可を前提として資本金および準備金を減少させる
- ▶ グループ内資本の効率的な活用を目指す「資本循環経営」の考え方にに基づき、本取扱いにより生じる剰余金をHDへの配当および成長事業への再配分に充当することを通じて、当社グループの資本効率および企業価値の向上を目指す。新経済価値規制の導入を受けた3月末のDFLの資本健全性等を踏まえた上で、減資部分を含めたHDへの配当金額を決定する予定

金額の詳細

(億円)	減額前	変動額	減額後	振替先
資本金	1,175	▲675	500	その他資本剰余金
資本準備金	675	▲175	500	その他資本剰余金
利益準備金	80	▲80	0	繰越利益剰余金

スケジュール

認可申請	2026年2月
効力発生日	2026年3月23日(予定)

資本循環経営

- ✓ 当社グループは、稼得資本およびリスク削減により解放された資本を財源として、財務健全性を確保しつつ高資本効率・高成長事業へ資本を再配分し、資本・キャッシュ創出の好循環を通じた企業価値向上を目指す「資本循環経営」を推進
- ✓ 本取組みにより創出される資本は、グループ全体の財務戦略に取り込むため、HDへの配当原資として活用する予定



第一フロンティア生命

→ 配当

第一生命
ホールディングス

成長投資や株主還元等の財源として資本を戦略的に活用

株式会社インフォマートへの出資(BtoBプラットフォーム提供者)および資本業務提携契約の締結を通じた協業



- ▶ 当社は、企業間取引の電子化サービスを提供する上場会社である株式会社インフォマート(以下、インフォマート)への出資を決定
- ▶ インフォマートはFOOD業界向けのデジタル受発注プラットフォーム(PF)においてトップシェアを有し、また請求書デジタル化システムにおいても約124万社(東証PRM上場企業の約97%、国内企業の約33.6%)のユーザーを有するリーディングカンパニー
- ▶ 同社の有する中小・中堅企業の生産性向上に資する企業向けのサービスとの協業を通じて、ベネフィット・ワンを含む当社グループの中小企業顧客基盤の拡充を見込む。これまでベネフィット・ワンを通じて企業向けに提供してきた人事・労務領域のサービスに加え、財務経理領域のソリューションが加わることで、BtoBサービス領域における当社グループの中堅・中小企業向け価値提供領域の拡大が見込まれる

会社概要・財務影響等

会社名	株式会社インフォマート (東証プライム市場:2492)
出資金額/ 出資比率	約174億円(全額HD手元資金)/ 15%(議決権ベース)
出資完了 時期	2026年3月上旬(予定) ※本件出資完了後、同社への取締役派遣を通じて持分法適用関連会社化を見込む(2027年3月頃を想定)
売上高 当期純利益	188億円 19億円 (いずれも2025年度)
従業員数	716名
グループESR への影響	影響は軽微

対象会社の主な事業セグメントおよび特色

FOOD事業 飲食業界向け受発注デジタル化事業

- 主に飲食店(外食チェーン、個人店、ホテル、結婚式場など)向けデジタル受発注PF
- ✓ 主に飲食店と卸・メーカー間の受発注を電子化し、複雑な業務対応を大幅に効率化
 - ✓ 売上の約6割占め、安定的な利益創出に貢献

ES事業 帳票デジタル化事業

- 全業界向け(業界特化型も提供開始)の請求書デジタル化PF
- ✓ 請求書の授受プロセスをDtoD⁽¹⁾でデジタル化し、請求業務を大幅に効率化
 - ✓ 売上の約4割を占め、人手不足による企業のDXニーズを取り込み高成長を実現

出資に関する戦略的意義

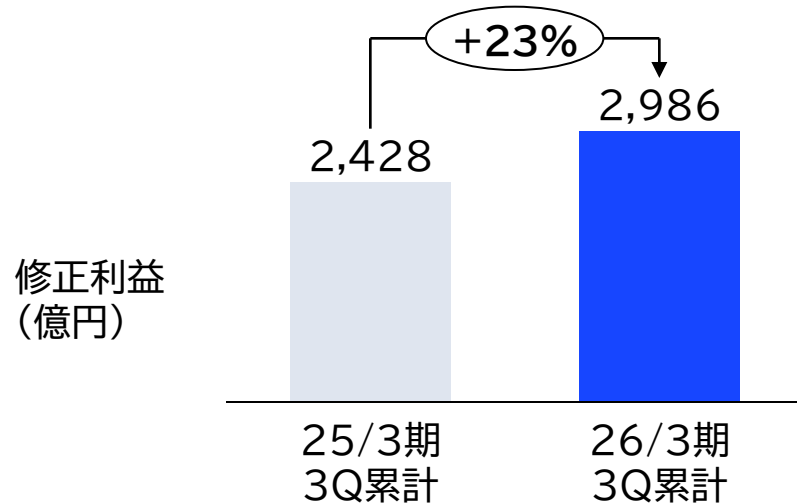
- ① ベネワンを活用したプラットフォームのBtoBサービス強化
- ② 協業を通じた顧客基盤(中堅・中小企業)の共有・クロスセル
- ③ 企業の生産性向上に直結する機能を獲得し、企業向け価値提供を強化・多様化

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要] 国内生命保険事業 – 第一生命



- ▶ 順ざやは、外債や投信等の利配減を、円債や外株、貸付等の利配増、ヘッジコスト減少等で相殺し、前年同期比+51%増の967億円
- ▶ 保有契約のマージン減少等による保険関係損益の悪化を順ざやの増加で相殺し、基礎利益は前年同期比+3%増の2,420億円
- ▶ 当期純利益は、基礎利益の増益に加え、有価証券売却益の増加により、前年同期比+23%増の2,986億円

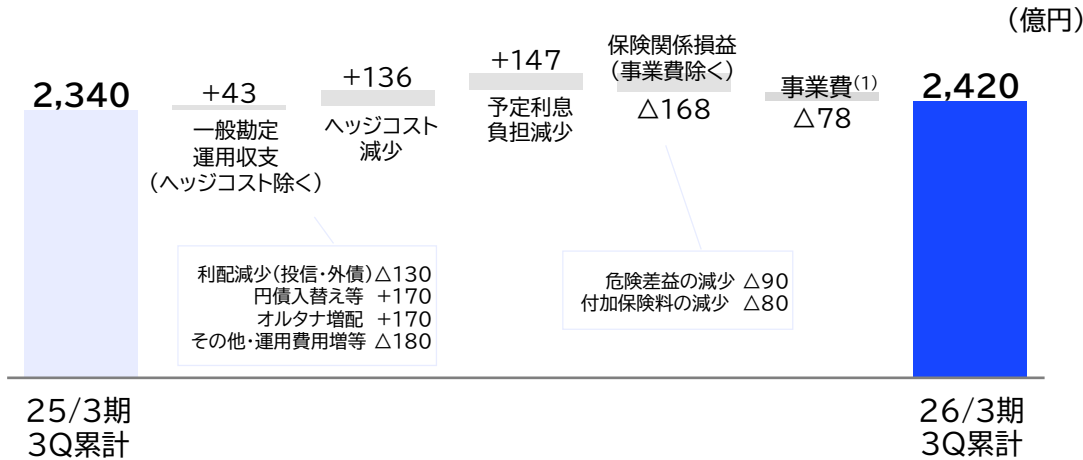


(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	15,735	16,835	+ 1,100	+ 7%
基礎利益	2,340	2,420	+ 80	+ 3%
順ざや	641	967	+ 326	+ 51%
うちヘッジコスト	△ 325	△ 190	+ 136	
保険関係損益	1,698	1,453	△ 246	△ 14%
キャピタル損益	1,939	2,736	+ 797	+ 41%
有価証券売却損益	1,833	2,556	+ 722	
投信解約損益	289	188	△ 101	
金融派生商品損益	△ 338	△ 396	△ 58	
為替差損益(除くヘッジコスト)	110	418	+ 308	
有価証券評価損	△ 43	△ 18	+ 25	
臨時損益	△ 251	△ 267	△ 16	-
新規追加責任準備金繰入額	△ 374	△ 312	+ 62	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	130	50	△ 80	
再保険関連収支	-	-	-	
経常利益(損失)	4,027	4,888	+ 861	+ 21%
特別損益	△ 127	△ 46	+ 81	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 90	△ 90	-	
契約者配当準備金繰入額	△ 620	△ 714	△ 94	
法人税等合計	△ 853	△ 1,143	△ 290	
当期純利益(損失)	2,428	2,986	+ 558	+ 23%
(参考)基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+175	約+195	約+20	

[グループ各社の業績概要] 第一生命 – 基礎利益・キャピタル損益の変動要因



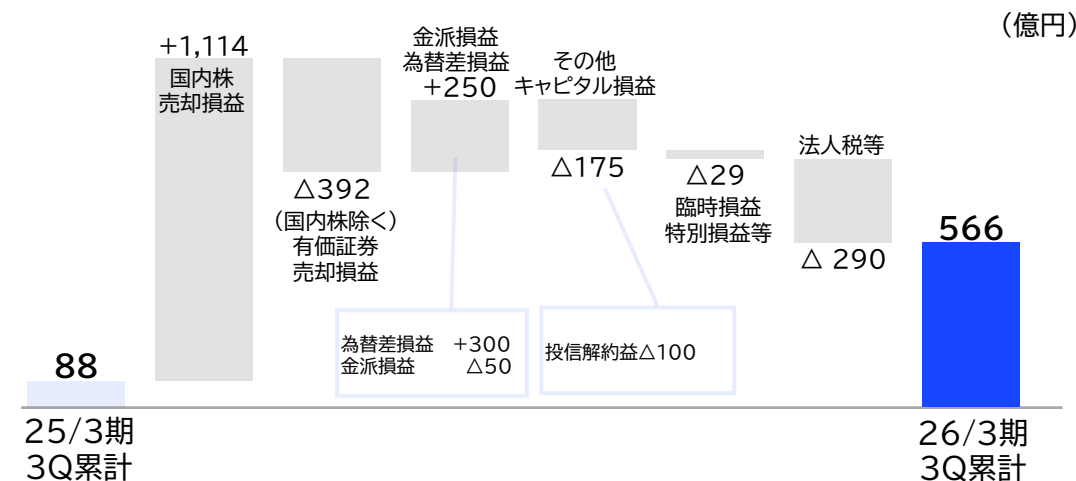
基礎利益の変動要因



()内は対前年同期比変化

- ✓ 一般勘定運用収支は、PE・HF等のオルタナティブ資産からの配当や、金利上昇局面での円債の入替え効果等による利息配当金の増加、ヘッジコスト減少等により増益
- ✓ 保険関係損益は、個人保険の保有契約減少に伴う危険差益・付加保険料の減少(△168億円)や事業費の増加等により前年同期比で減少

キャピタル損益等の変動要因



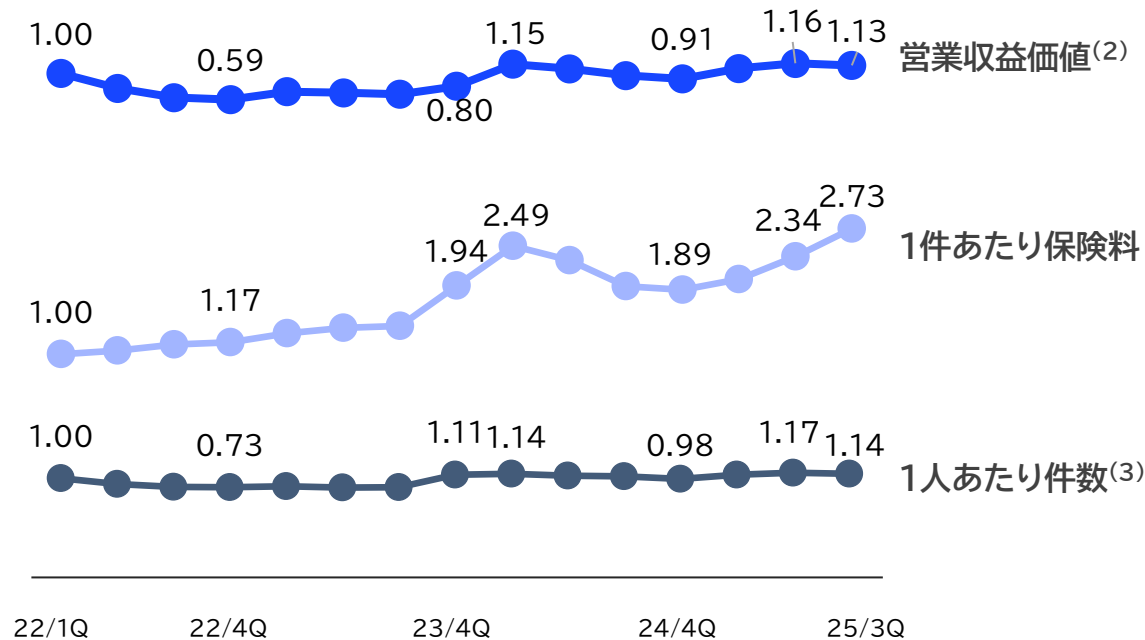
(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	予算比と増減要因
有価証券売却損益	1,833	2,556	+722	約△250
国内株式	3,444	4,558	+1,114	(+) 株価上昇
円建債券	△ 1,925	△2,151	△226	(-) 金利上昇に伴う売却損の拡大
ヘッジ外債	△ 431	△ 26	+ 405	(+) 前期の売却損の剥落
その他	746	174	△571	(-) 前期の外株売却益の剥落等

- ✓ 国内の株価上昇および売却額の増額により国内株売却益が大きく増加。有価証券売却損益全体では前年同期を上回る水準となるも、国内金利の上昇に伴う円建債券の入替え増額により、予算対比ではマイナスの水準
- ✓ その他キャピタル損益の減少は、投信解約益の減少(△100億円)が主要因

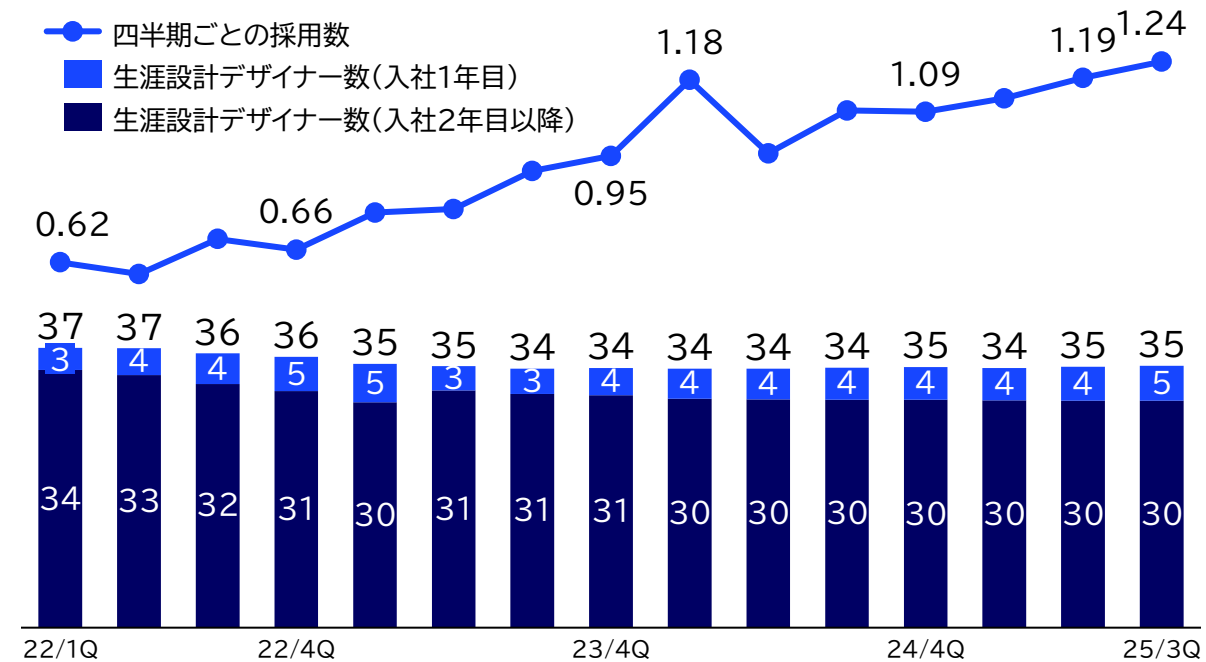
(1) HDへの支払経営管理料を含む

DL契約業績・生涯設計デザイナー

営業収益価値の推移(生涯設計デザイナーチャネル)⁽¹⁾



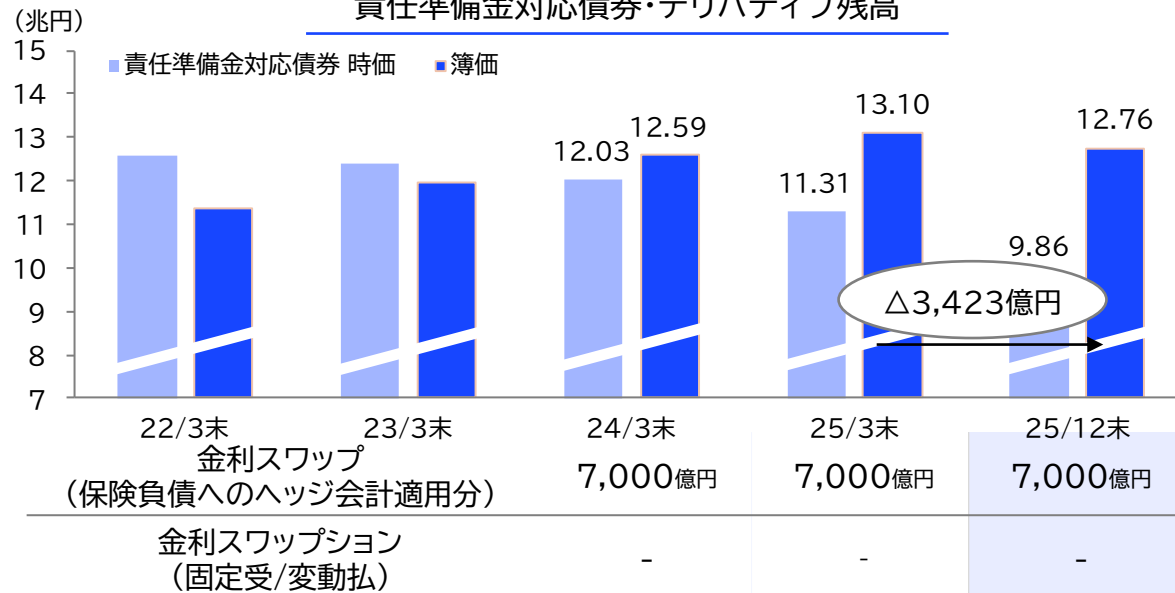
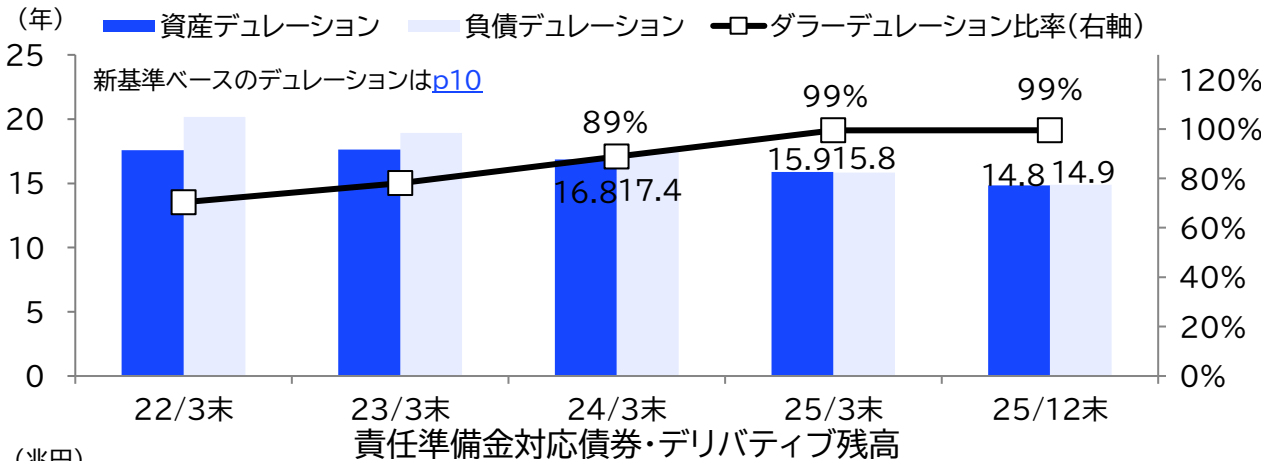
生涯設計デザイナー数の推移(千人)



(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。24/1Qに算出基準の一部を変更(23/1Qから遡及適用)
(3)入社1年目を除く生涯設計デザイナーの件数および在籍数で計算

[グループ各社の業績概要]第一生命 – 市場関連リスク削減の取組状況

デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾

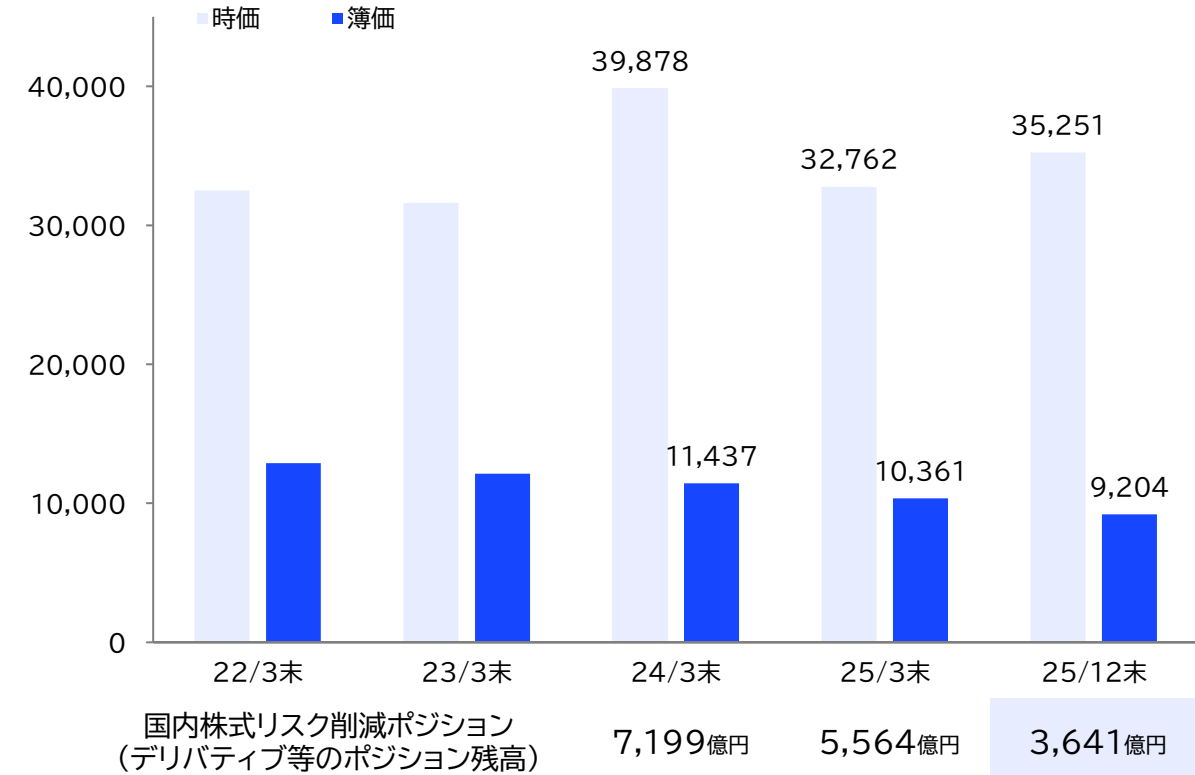
国内株式に関する売買状況
(2025年度3Q累計)

ネット売却額
(時価ベース)

5,713億円

売却損益

+4,556億円



[参考]外国株式リスク削減ポジション

203億円

-

300億円

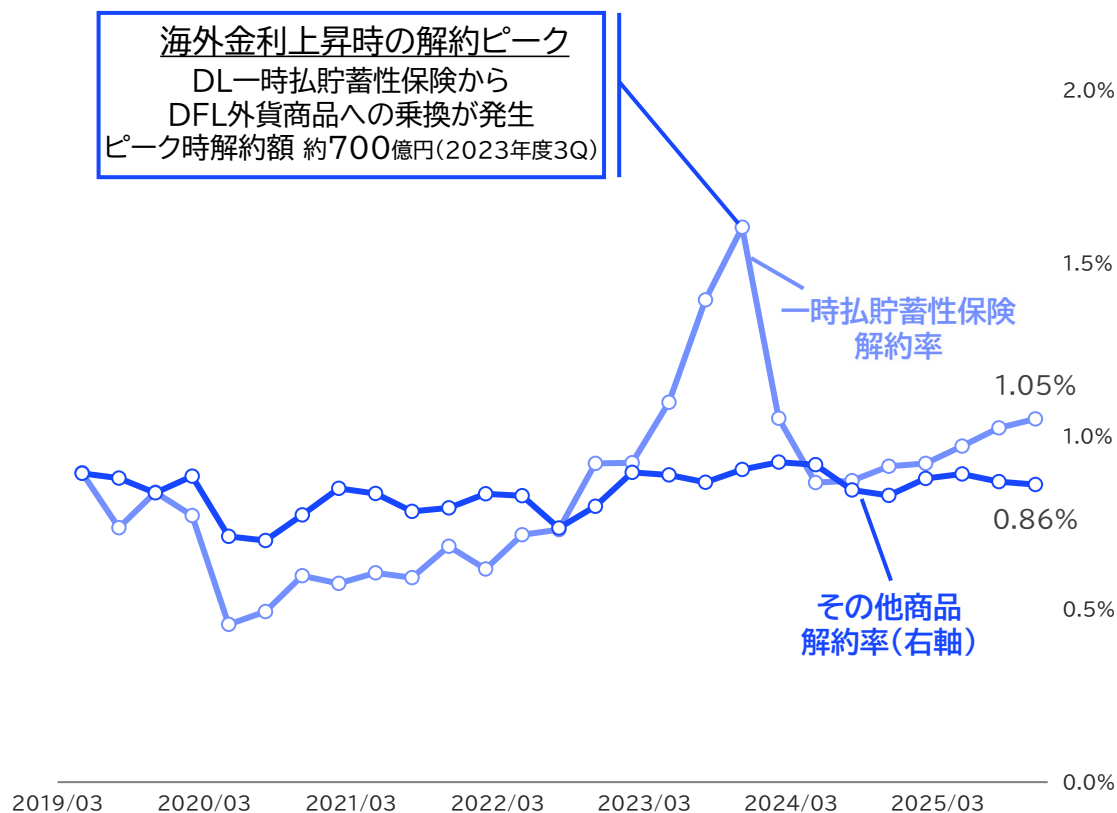
(1) 今回公表の計算基準の変更反映前の数値。一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高。「ダラデュレーション比率」は、上記の資産・負債に関して「(資産デュレーション×資産時価)÷(負債デュレーション×負債現在価値)」にて計算。責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められる債券

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。25/12末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は452億円

Copyright © 2026 Dai-ichi Life Holdings, Inc.

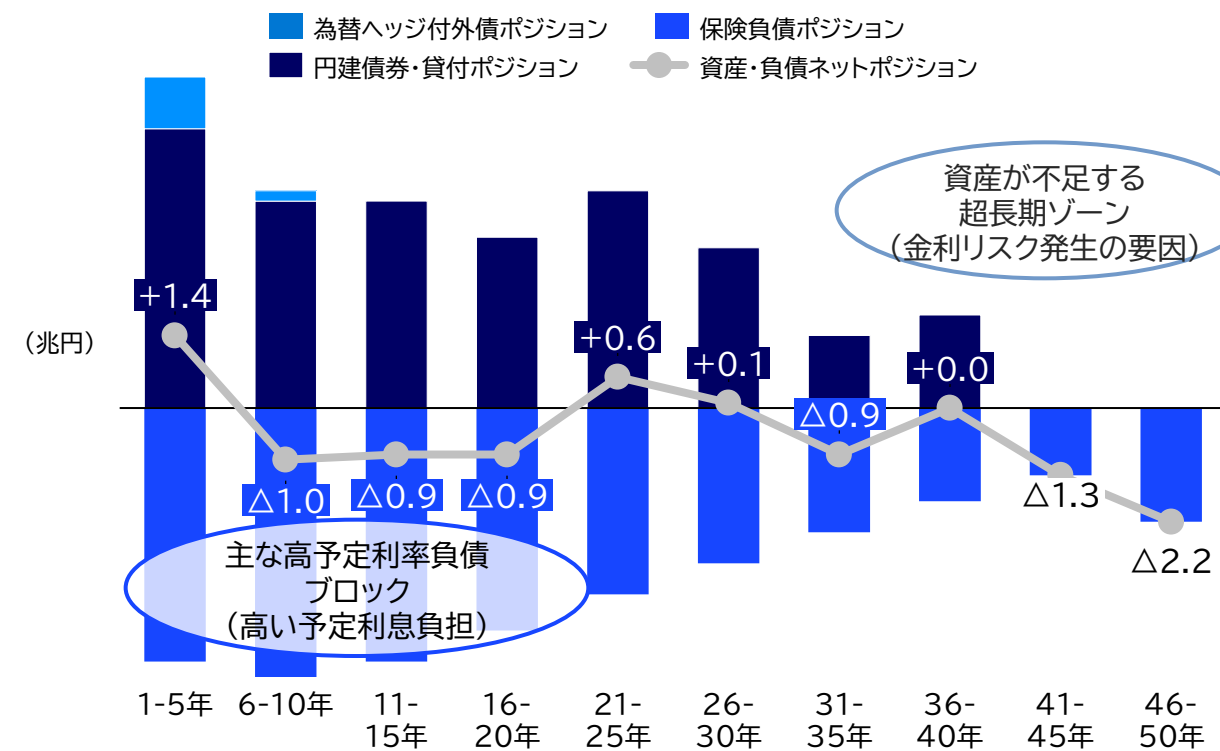
貯蓄性商品の解約リスク

貯蓄性商品における解約率⁽¹⁾の変遷⁽²⁾



第一生命の資産・保険負債のキャッシュフロー構造(5年ごと累計・概算値)

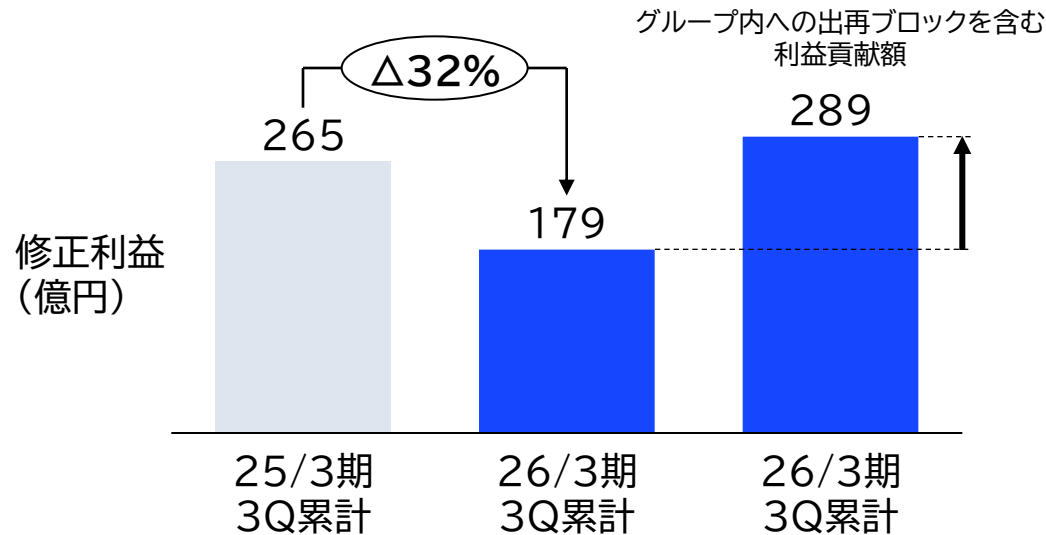
IR資料抜粋
(11月開示)



[グループ各社の業績概要]国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



- ▶ 当期純利益は、保有契約の拡大等により順ざやが順調に拡大したものの、円建商品等の非出再商品の販売増加に伴う標準責任準備金積増等の新契約費用の増加等に伴い減益となり、90億円(前年同期比△67%)
- ▶ MVA関連損益を除いた修正利益は、179億円(前年同期比△32%)。グループ内出再分を含めた利益貢献額は、米国社債市場におけるスプレッド縮小に伴いDLRBからの利益貢献が上半期より大幅に増加した結果、289億円(前年同期比△29%)となった

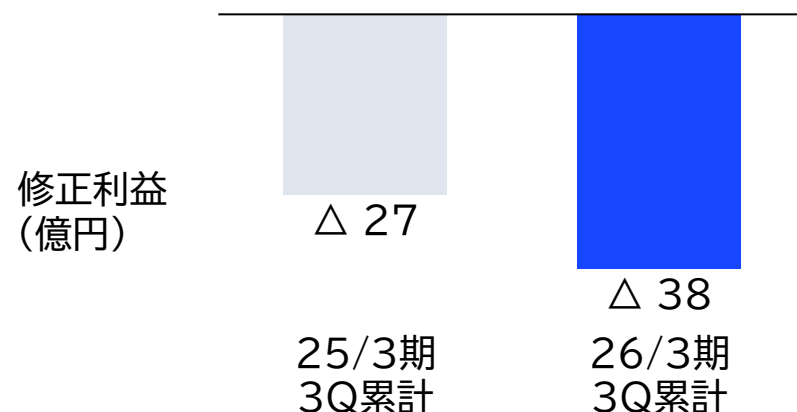


(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	23,773	23,133	△ 640	△3%
基礎利益	711	514	△ 197	△28%
順ざや	373	410	+ 37	
保険関係損益等	338	104	△ 234	
キャピタル損益	△ 228	△ 166	+ 62	
MVA関連損益	10	△ 124	△ 134	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)等	△ 238	△ 41	+ 196	
臨時損益	△ 58	△ 172	△ 114	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 57	△ 164	△ 107	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 0	△ 8	△ 8	
経常利益(損失)	426	177	△ 249	△58%
特別損益	△ 46	△ 48	△ 2	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 45	△ 48	△ 3	
法人税等合計	△ 108	△ 39	+ 69	
当期純利益(損失)	272	90	△ 182	△67%
MVA関連損益(税前)	△ 10	124	+ 134	
修正利益	265	179	△ 86	△32%
グループ内出再に伴う連結調整	16	16	-	
グループ修正利益寄与額	281	195	△ 86	△31%
グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額	405	289	△ 116	△29%

[グループ各社の業績概要]国内生命保険事業 – ネオファースト生命



- ▶ 保険料等収入(再保険収入を除く)は、がん保険の商品改定効果によって販売が一段と好調に推移したことに加え、経営者保険の販売も引き続き堅調であったことから保有契約が増加し、前年同期比+4%増の754億円
- ▶ 当期純利益は、販売増加に伴う新契約費用の増加等による事業費増等により△38億円(前年同期は△27億円)



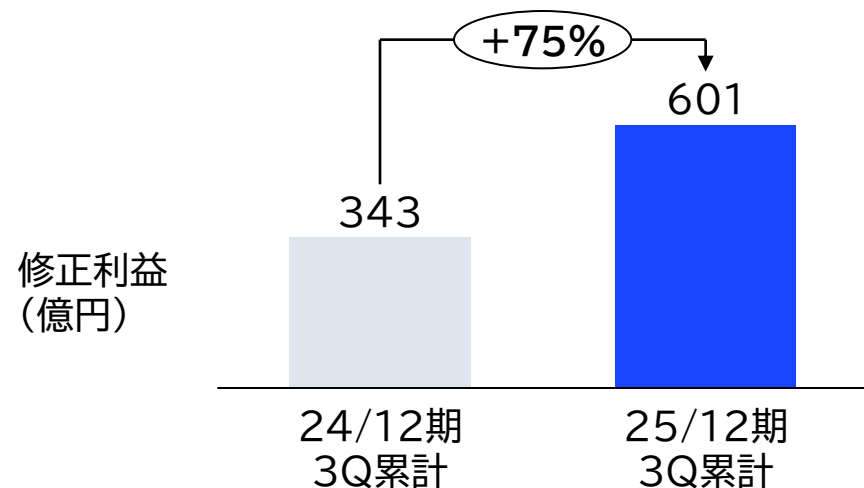
(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	723	754	+ 31	+ 4%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 461	△ 453	+ 8	
保険金・年金・給付金	△ 125	△ 142	△ 18	
解約返戻金・その他返戻金	△ 337	△ 311	+ 25	
責任準備金等繰入額	△ 32	△ 143	△ 111	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 1	△ 1	△ 0	
事業費	△ 266	△ 298	△ 32	
再保険収支	14	36	+ 22	
資産運用損益・その他経常損益	△ 14	53	+ 67	
資産運用損益	8	10	+ 3	
その他経常損益	△ 21	42	+ 64	
経常利益(損失)	△ 36	△ 51	△ 16	-
特別損益	△ 0	△ 0	+ 0	
法人税等合計	9	14	+ 5	
当期純利益(損失)	△ 27	△ 38	△ 11	-
基礎利益	△ 35	△ 50	△ 15	-
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	18	16	△ 2	

[グループ各社の業績概要]海外保険事業 – 米プロテクティブ



※25/12期4Q(10-12月)決算は、現地時間2/26に公表予定

- ▶ 営業利益は、買収事業で保険金等の支払いが増加した一方で、プロテクション・買収事業で利回り前提の見直しによるプラス影響、リタイアメント事業で子会社のConcourse Securitiesの売却益、運用収益の増加等が貢献し、前年同期比+77%の547百万米ドル
- ▶ 単体の当期純利益は、株価低下に伴う評価損の計上等により、前年同期比△36%の196百万米ドル。修正利益は、当期純利益から+208百万ドル調整されて403百万米ドル(前年同期比+68%)



(百万米ドル)	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,385	3,777	△ 608	△ 14%
税引前営業利益⁽¹⁾	310	547	+ 237	+ 77%
プロテクション	△ 53	116	+ 169	-
リタイアメント	154	231	+ 77	+ 50%
買収	269	277	+ 8	+ 3%
ステーブルバリュー(SV)	75	47	△ 28	△ 37%
アセットプロテクション(AP)	16	24	+ 9	+ 54%
エンプロイー・ベネフィット ⁽²⁾	-	22	+ 22	-
コーポレート等	△ 150	△ 170	△ 20	-
営業外損益(償却調整後)	66	△ 316	△ 382	
債券売却損益	△ 23	△ 38	△ 15	
債券評価損・株式評価損益等	47	△ 9	△ 56	
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	△ 2	△ 1	+ 1	
修正共同保険式再保険に関する損益	23	△ 309	△ 332	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	21	18	△ 3	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	41	27	△ 14	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 40	3	+ 44	
法人税等	△ 72	△ 35	+ 37	
当期純利益(損失)	304	196	△ 108	△ 36%
修正利益への調整	△ 64	208	+ 272	
修正利益	240	403	+ 163	+ 68%
修正利益 ※円換算後: 億円	343	601	+ 258	+ 75%
決算為替レート(対円)	142.73	148.88	+ 6.15	+ 4%

(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
(2) 2024年11月に買収したShelterPoint。24/12期4Q決算から連結開始

PLCにおける新会計基準 LDTIの導入

- ▶ Long-Duration Targeted Improvements (LDTI)が米国会計基準で導入され、PLCの25/12期の当期純利益(2026/5公開)はLDTI基準で表示
- ▶ アンロッキングの対象拡大に伴い、初回適用する2025年度4Qは影響額が大きいものの、期中の会計基準の変更に該当するため、修正利益の計算上、25/12期はLDTIの影響は含めず26/12期より含める

LDTIの概要

- ・ 米国会計基準における長期保険契約の会計処理を見直し、保険負債の測定の適時性向上や情報開示の充実を目的として導入された改正基準
- ・ 保険負債に用いる死亡率等の前提は定期的に見直し、割引率の見直しによる変動を除き、影響は損益に反映
- ・ 保険契約費用(DAC⁽¹⁾等)に関する取扱いが簡素化

適用による主な変更点

変更内容	概要
A 保険負債の計算方法	・ 保険負債に用いる死亡率等の前提は定期的に見直され、割引率の見直しによる変動を除き、影響は損益に反映。割引率は市場金利を反映して四半期ごとに更新され(シングルA格付の確定利付資産の利回りをベースに算定)、その変動影響は「その他の包括利益(OCI)」で認識
アンロッキング対象	・ 現行基準で契約当初から前提を固定している定期保険等にもアンロッキング対象を拡大
B 市場リスク給付導入 ⁽³⁾	・ 現行基準で保険負債として計算している最低死亡保障特約部分を公正価値評価に変更
C DAC等償却パターン	・ DACを保険料や利益に比例して償却する形式から契約期間に亘って定期償却していく形式に変更

適用の影響範囲

PLCの6事業のうち3事業に影響

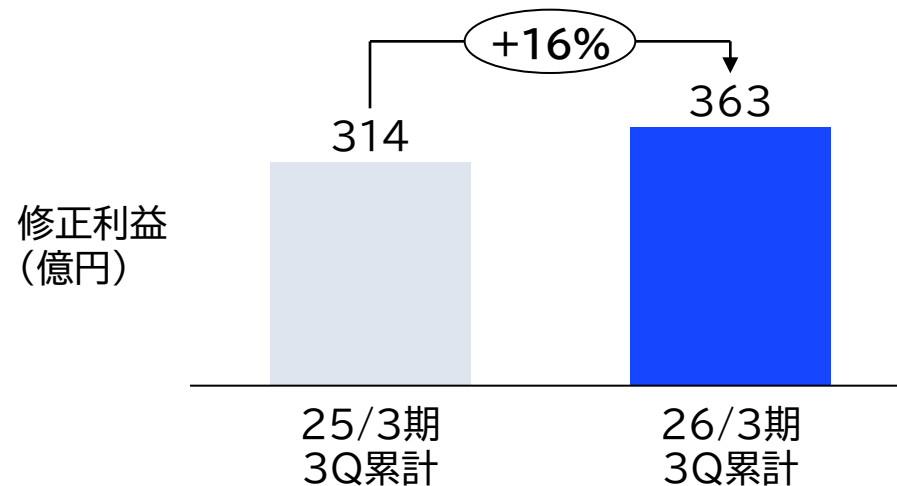
事業	LDTI 影響	参考:税引前営業利益 ⁽²⁾ (百万米ドル)	
		23/12期	24/12期
プロテクション	☑	28	▲26
リタイアメント	☑	117	221
買収	☑	358	374
ステーブルバリュー		137	94
アセットプロテクション		51	21
エンployee・ベネフィット		-	▲0

(1)Deferred Acquisition Cost (繰延新契約費) (2)LDTIを適用していない現行基準

(3)変額年金等の死亡保険金額や引出・給付額の最低保証に係る市場(株式・金利・為替等)リスクから保険契約者を保護する契約または契約の特性のことで、当該部分は公正価値評価

【グループ各社の業績概要】 海外保険事業 – 豪TAL

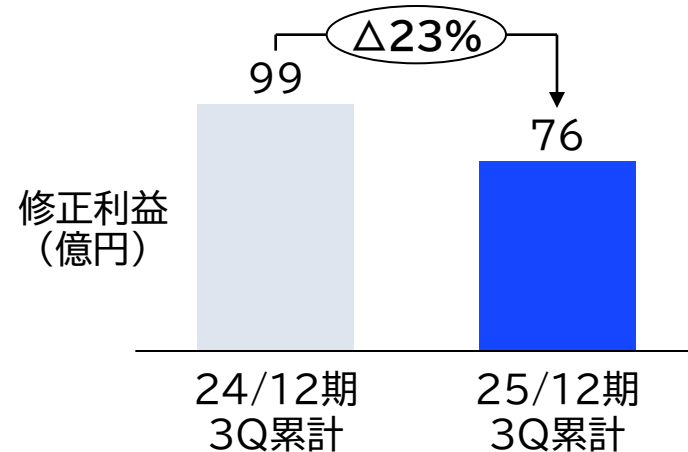
- ▶ 基礎的収益力は、保険金支払いが増加したことで前期比△1%の345百万豪ドル。当期純利益は、保険金の支払い増加による影響を堅調な運用収益によって相殺し、前期比+25%の425百万豪ドル。金利変動等の影響を除外した修正利益では346百万豪ドル



(百万豪ドル)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	5,885	5,883	△ 2	△ 0%
基礎的収益力(税引後)	347	345	△ 3	△ 1%
保障事業	363	319	△ 44	△ 12%
その他	△ 16	25	+ 41	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 7	80	+ 87	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	23	90	+ 67	
統合コスト	△ 14	—	+ 14	
優先株配当等	△ 8	△ 7	+ 2	
その他	△ 8	△ 3	+ 4	
当期純利益(損失)	340	425	+ 85	+ 25%
修正利益への調整	△ 22	△ 79	△ 57	
修正利益	319	346	+ 28	+ 9%
修正利益 ※円換算後: 億円	314	363	+ 49	+ 16%
決算為替レート(対円)	98.50	104.82	+ 6	+ 6%

[グループ各社の業績概要] 海外保険事業 – 第一生命ベトナム

- ▶ 銀行窓販チャネルでは販売が増加した一方で、個人代理人チャネルでは減少し、保険料等収入は前年同期比△4%の13,419十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、販売減により初年度販売手数料・経費等が減少した一方で、保険料等収入の減少および保険金・解約返戻金等の支払いの増加等により、前年同期比△21%の1,355十億越ドン。



(十億越ドン)	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	13,932	13,419	△ 512	△ 4%
初年度保険料	2,772	2,172	△ 600	△ 22%
継続保険料 ⁽¹⁾	11,160	11,247	+ 87	+ 1%
その他収益	2,301	2,872	+ 571	
資産運用収益等	2,626	3,162	+ 536	
再保険収支	△ 325	△ 290	+ 36	
事業費等	△ 5,350	△ 4,412	+ 937	
初年度販売手数料・経費等	△ 3,673	△ 2,744	+ 929	
継続手数料・事務管理費	△ 1,676	△ 1,668	+ 8	
保険金・解約返戻金等	△ 3,435	△ 3,950	△ 515	
責任準備金繰入額等	△ 5,317	△ 6,151	△ 834	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 5,411	△ 6,135	△ 723	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	94	△ 17	△ 111	
法人税等	△ 420	△ 424	△ 4	
当期純利益(損失)	1,712	1,355	△ 357	△ 21%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	99	76	△ 23	△ 23%
決算為替レート(対円)	0.0058	0.0056	△ 0.0002	△ 3%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,553	1,440	△ 112	△ 7%

(1) 契約より2年目以降の保険料収入

(2) DLVNの2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

[グループ各社の業績概要] 非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)

- ▶ 各社においてAUMを堅調に拡大させたことで増益。アセットマネジメント事業の修正利益は前年同期比+ 232%増の126億円
- ▶ ベネフィット・ワンの修正利益は38億円。会員数を着実に伸ばし、2025年12月末時点で1,039万人

非保険事業(アセットマネジメント事業) 修正利益

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減(%)
VTX	1	4	+ 156%
AMO	34	40	+ 16%
AMO (US)	0	1	+ 154%
DMRE	-	34	-
CP	2	10	+ 439%
Capula	-	35	-
And Do	-	2	-
	38	126	+ 232%

[参考] 預り運用資産

(兆円)	25/3末	25/12末	増減(%)
VTX	2.2	2.8	+ 27%
AMO	70.9	80.3	+ 13%
DMRE	-	2.0	-

(億ドル)	24/12末	25/9末	増減(%)
AMO (US)	218	163	△ 25%
CP	263	282	+ 7%
Capula	-	329	-

非保険事業(新規事業) 修正利益

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減(%)
BO	27	38	+ 41%
	27	38	+ 41%

[参考] 会員数(万人)

	25/3末	25/12末	増減(%)
BO	1,007	1,039	+ 3%

[参考] BOの無形資産償却額

のれん償却額 (約200億円/年・10年償却)
無形資産償却額(約30億円/年・24年償却)

グループEV

グループEV⁽¹⁾

- ▶ グループEVは、DLが保有する国内株式の上昇等で前期末比+約1兆4,800億円増の約9.65兆円

第一生命グループ

(億円)	25/3末	25/12末 (概算値)	増減
第一生命グループ	81,646	約96,500	約+14,800
修正純資産相当額	17,864	約15,400	約△2,500
保有契約価値相当額	63,782	約81,100	約+17,300

(億円)	25/3末	25/12末 (概算値)	増減
DL	57,050	約65,100	約+8,000
修正純資産相当額	18,951	約13,000	約△5,900
保有契約価値相当額	38,099	約52,000	約+13,900

(億円)	25/3末	25/12末 (概算値)	増減
DFL	8,889	約10,300	約+1,400
修正純資産相当額	2,441	約2,700	約+300
保有契約価値相当額	6,448	約7,600	約+1,100

(億円)	24/12末	25/9末 (概算値)	増減
米PLC	8,630	約11,300	約+2,700
修正純資産相当額	△ 2,444	約△400	約+2,100
保有契約価値相当額	11,074	約11,700	約+600

(億円)	25/3末	25/12末 (概算値)	増減
豪TAL	6,255	約7,100	約+800
修正純資産相当額	1,786	約1,600	約△200
保有契約価値相当額	4,469	約5,500	約+1,000

[参考] 現地通貨建

	24/12末	25/9末 (概算値)	増減
	5,456	約7,600	約+2,200
	△ 1,545	約△200	約+1,300
	7,001	約7,900	約+900

	25/3末	25/12末 (概算値)	増減
	6,656	約6,700	約+100
	1,901	約1,500	約△400
	4,756	約5,200	約+500

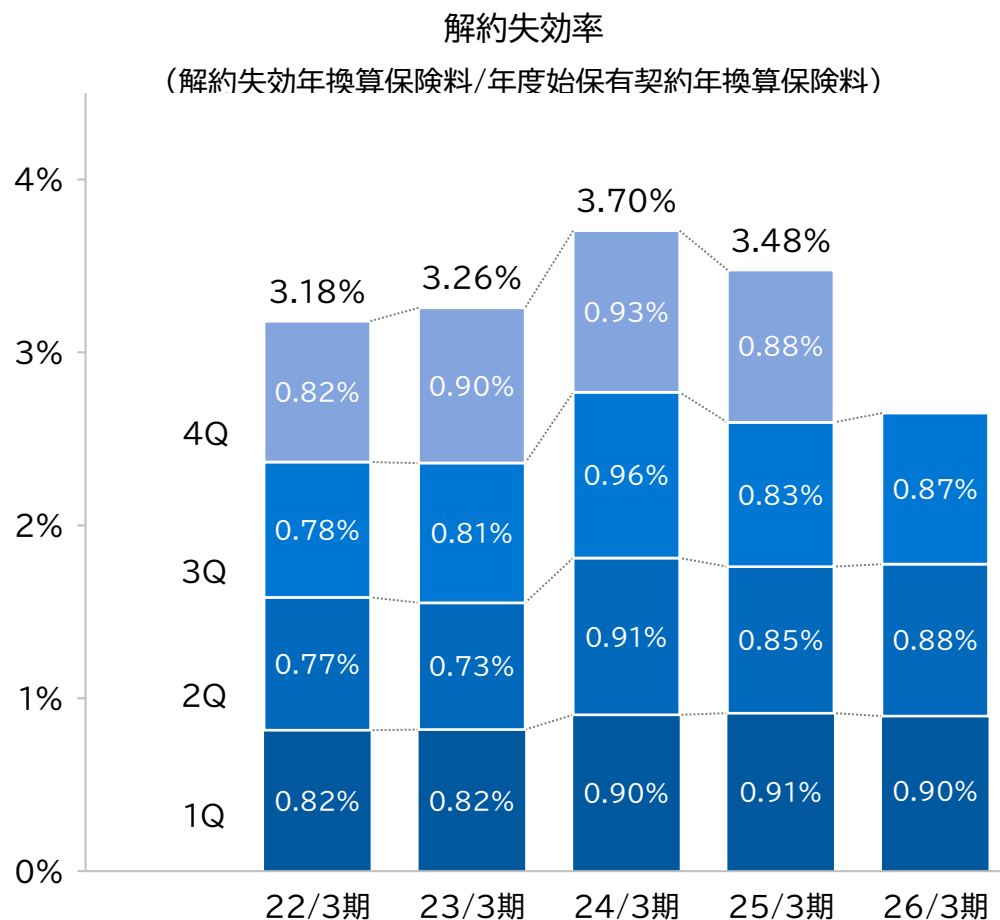
(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

参考データ

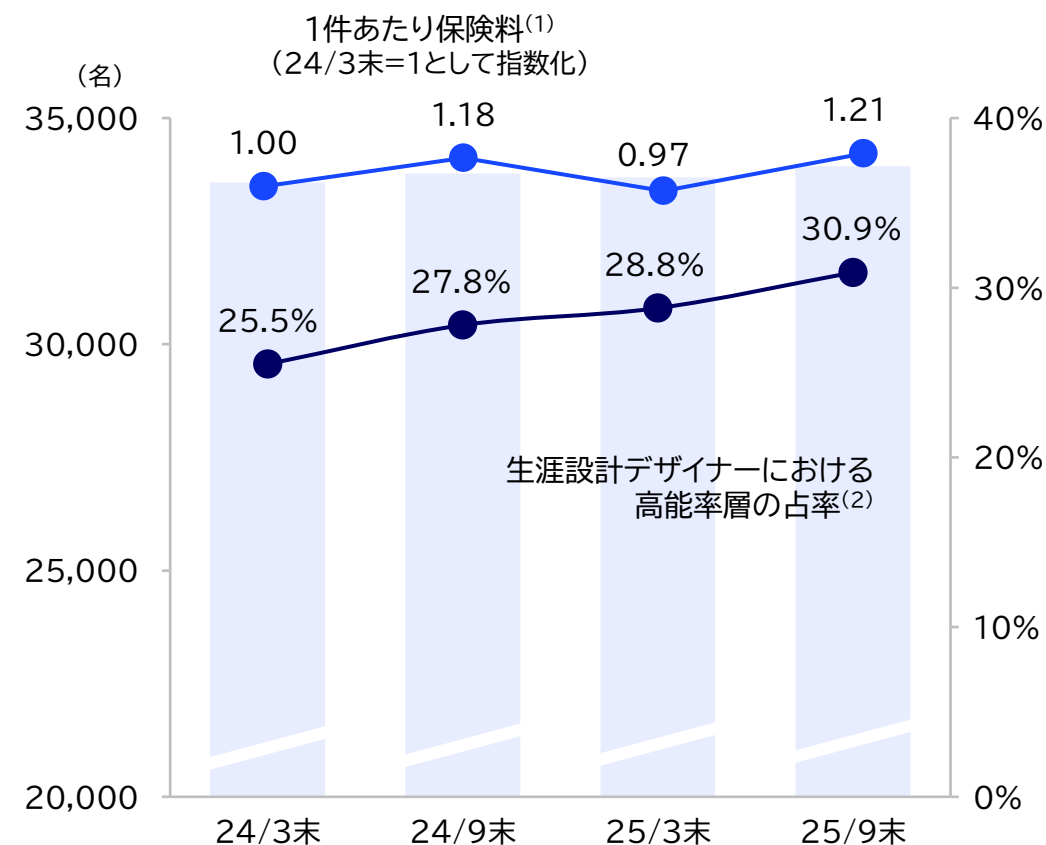
[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性



解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 代理店チャネル除く
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合

[第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳



利息・配当金等収入⁽¹⁾の内訳

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	5,549	5,688	+ 139	+ 2%
公社債	2,101	2,283	+ 182	+ 9%
株式	462	448	△ 14	△ 3%
外国債券	750	652	△ 98	△ 13%
外国株式	772	851	+ 79	+ 10%
その他の証券	379	313	△ 66	△ 18%
貸付金	498	562	+ 64	+ 13%
不動産 ⁽³⁾	508	511	+ 3	+ 1%

[参考] 25/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽²⁾
一般勘定計	7,703	315,279	2.44%
公社債	2,847	180,925	1.57%
株式	823	11,528	7.14%
外国債券	991	31,227	3.17%
外国株式	1,035	13,161	7.86%
その他の証券	533	12,119	4.40%
貸付金	681	31,778	2.14%
不動産 ⁽³⁾	682	8,955	7.62%

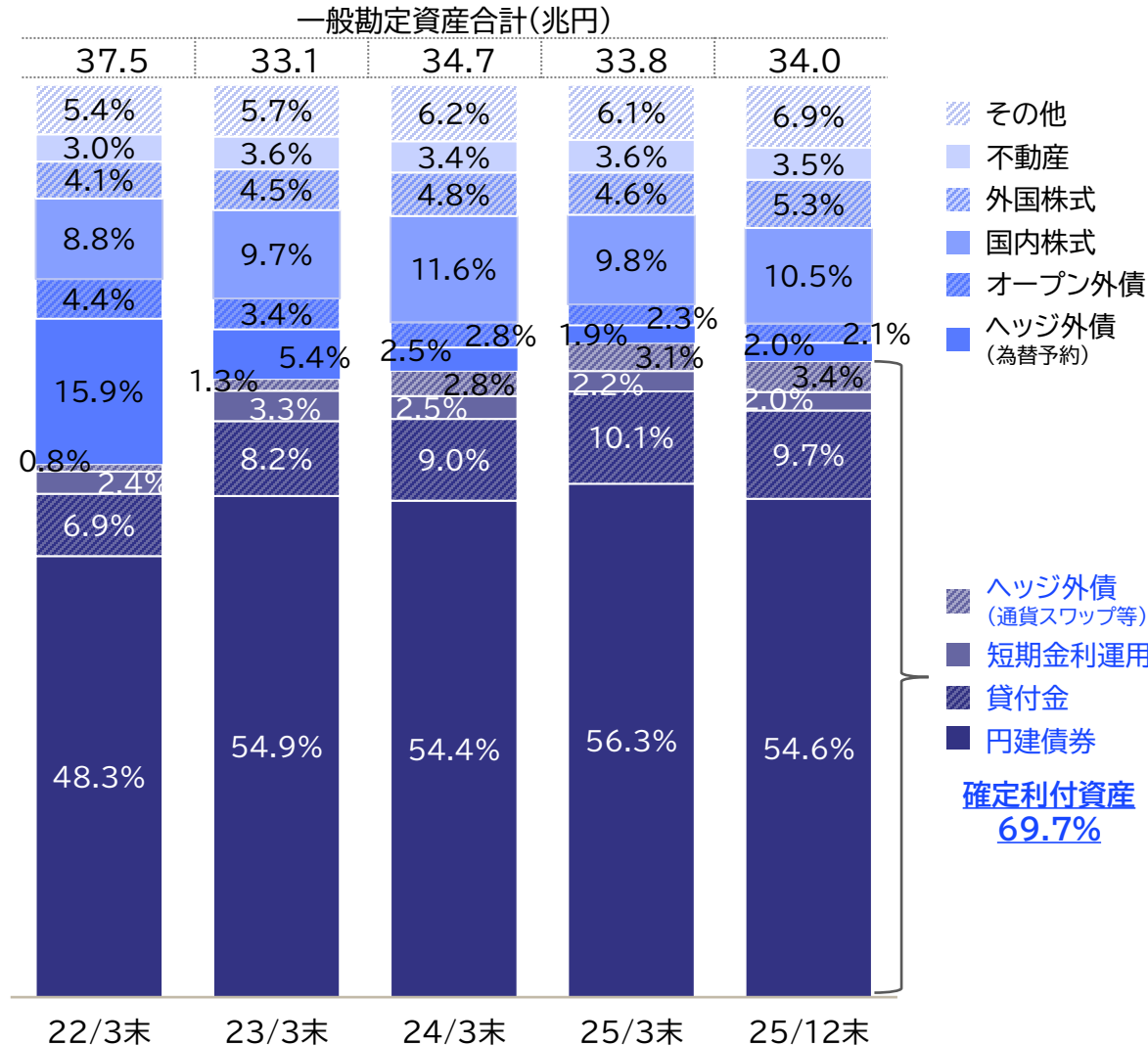
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	4,696	5,267	+ 571	+ 12%
公社債	105	73	△ 33	△ 31%
株式	3,487	4,709	+ 1,222	+ 35%
外国債券	185	125	△ 60	△ 33%
外国株式	917	355	△ 562	△ 61%
その他	3	6	+ 3	+ 125%
有価証券売却損	2,863	2,711	△ 152	△ 5%
公社債	1,955	2,211	+ 256	+ 13%
株式	42	150	+ 108	+ 254%
外国債券	602	201	△ 400	△ 67%
外国株式	213	81	△ 132	△ 62%
その他	51	68	+ 16	+ 32%
有価証券売却損益	1,833	2,556	+ 722	+ 39%
有価証券評価損	43	18	△ 25	△ 57%
公社債	9	9	+ 0	+ 5%
株式	9	7	△ 2	△ 23%
外国債券	-	-	-	-
外国株式	8	1	△ 7	△ 85%
その他	17	1	△ 16	△ 96%

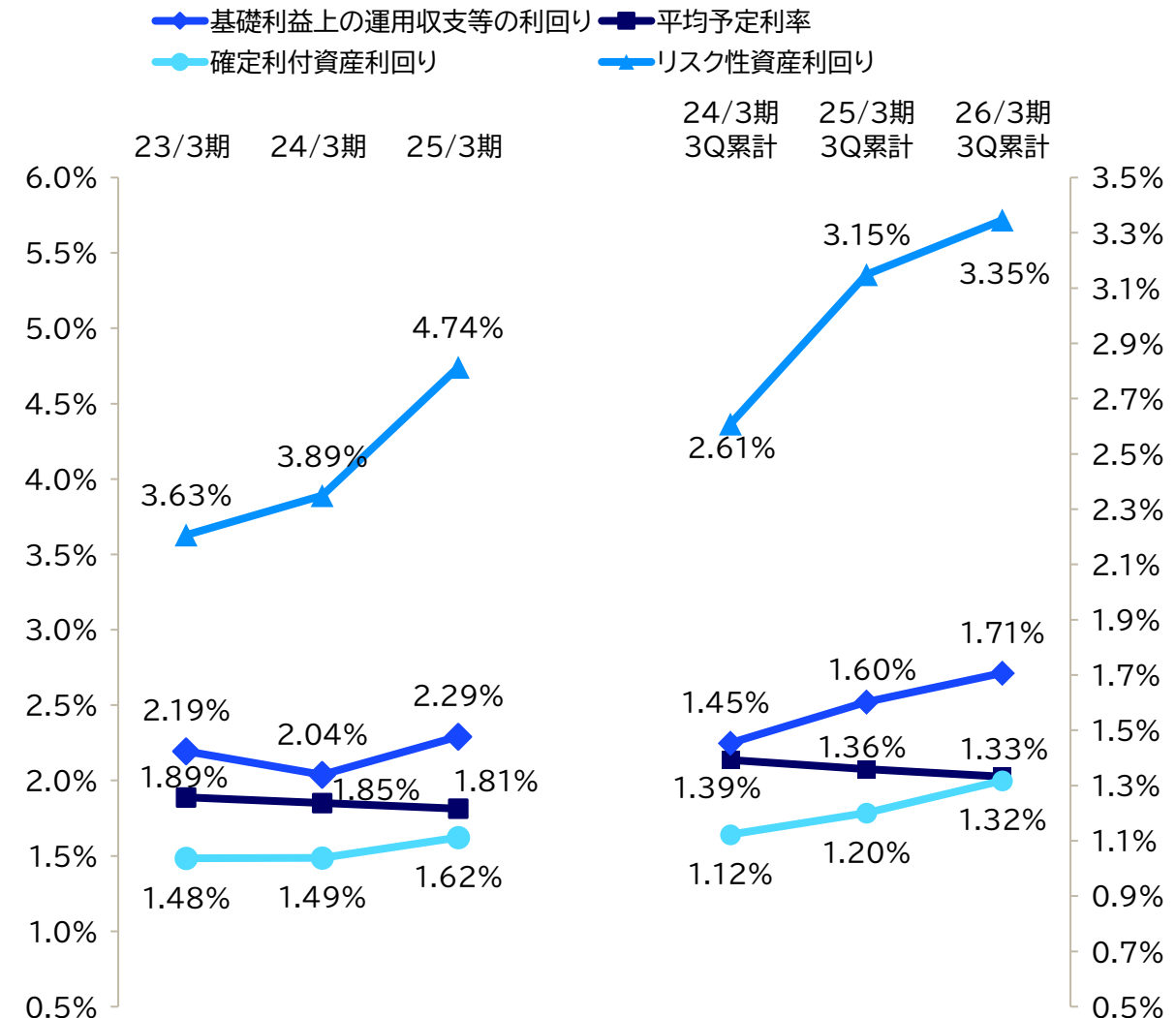
[第一生命] 資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率



運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾⁽²⁾



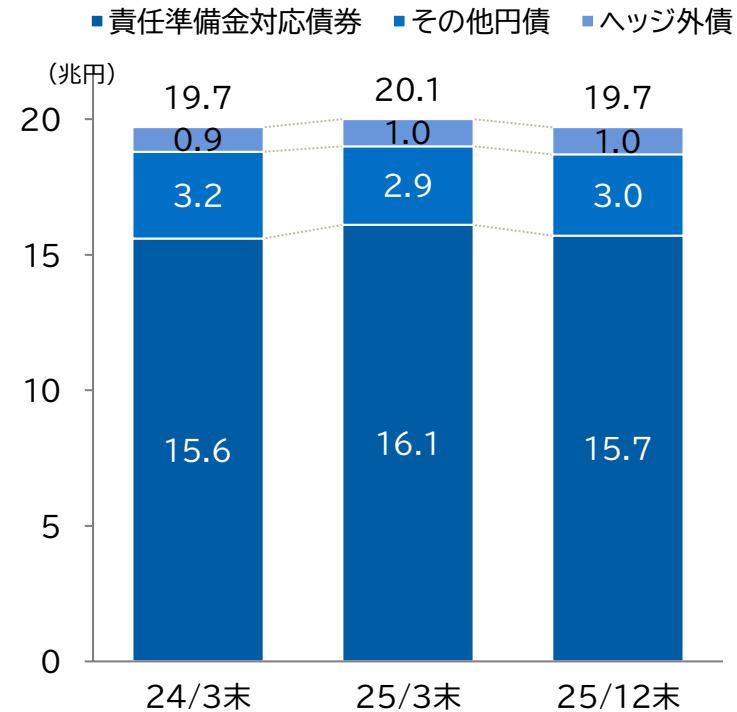
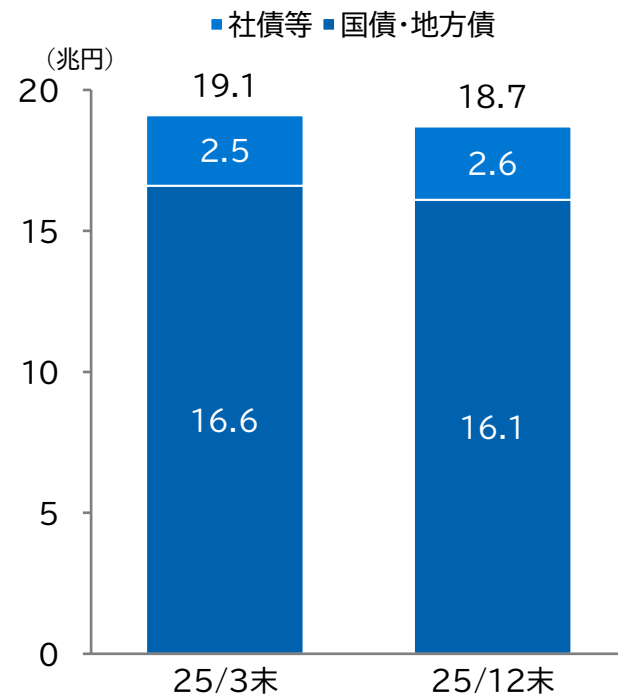
資産運用利回りと平均予定利率⁽³⁾



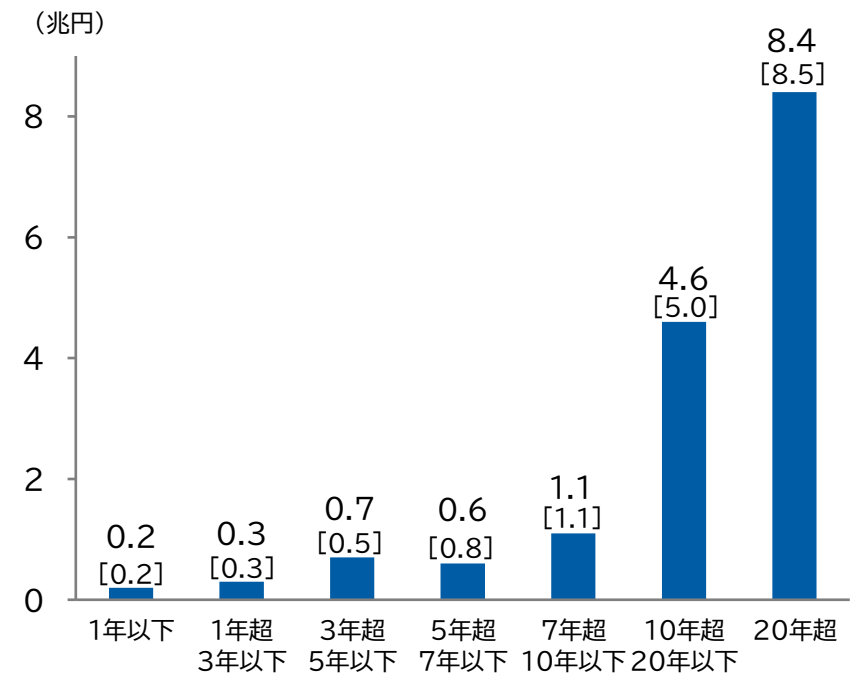
(1) 貸借対照表価額ベース (2) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類

(3) 各資産の利回りについては、資産毎の利息配当金収入(資本性配当金を除く)からヘッジコスト等を除いた金額を各資産の期間平均残高で除して算出

[第一生命] 資産運用の状況③ – 確定利付資産の状況

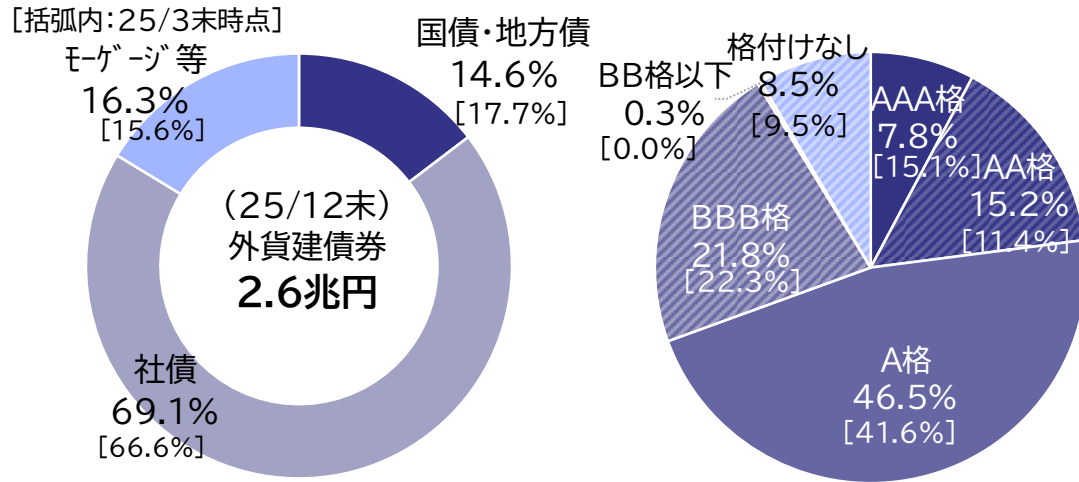
円建債券の内訳⁽¹⁾確定利付資産における債券積増し状況⁽¹⁾⁽²⁾国債の残存期間別残高⁽³⁾ (25/12末)

[括弧内: 25/3末時点]

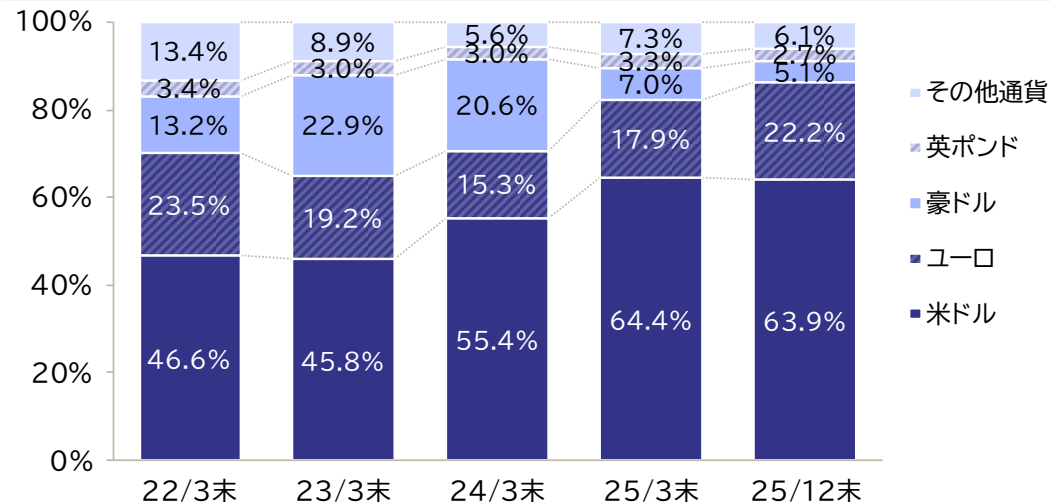


[第一生命] 資産運用の状況④ – 外貨建債券の状況

外貨建債券の内訳⁽¹⁾⁽²⁾ (25/12末)



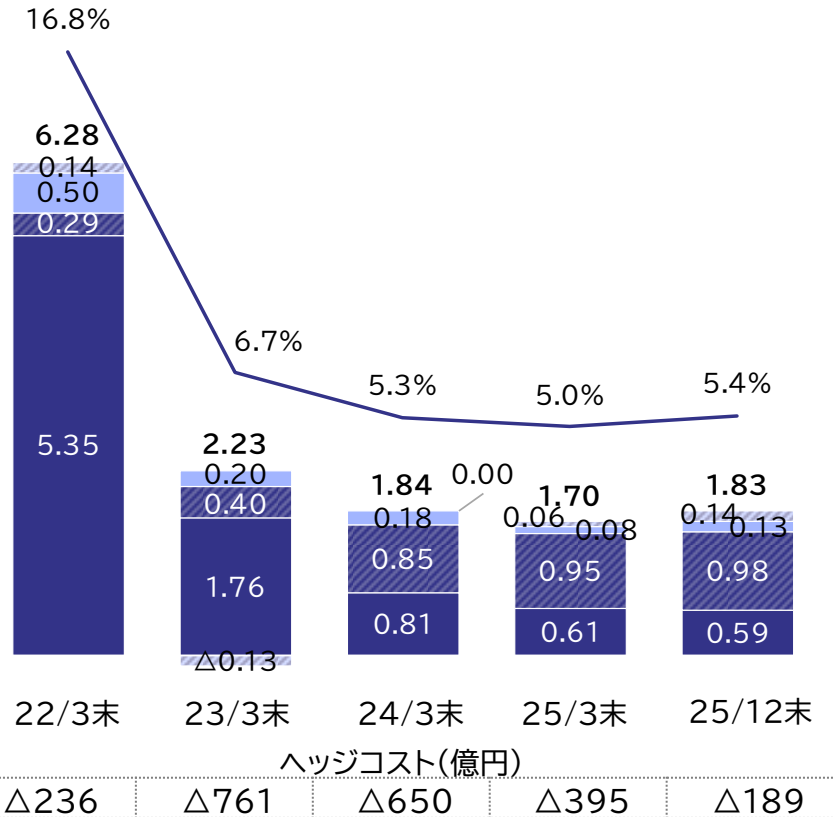
外貨建債券の通貨別構成⁽¹⁾



為替ヘッジ付外債残高詳細⁽¹⁾⁽³⁾

一般勘定における
資産占率
(貸借対照表価額)
(兆円)

- 含み損益
- ヘッジ会計為替影響
- ヘッジ会計為替影響
反映前簿価
(通貨スワップ等)
- ヘッジ会計為替影響
反映前簿価
(為替予約)

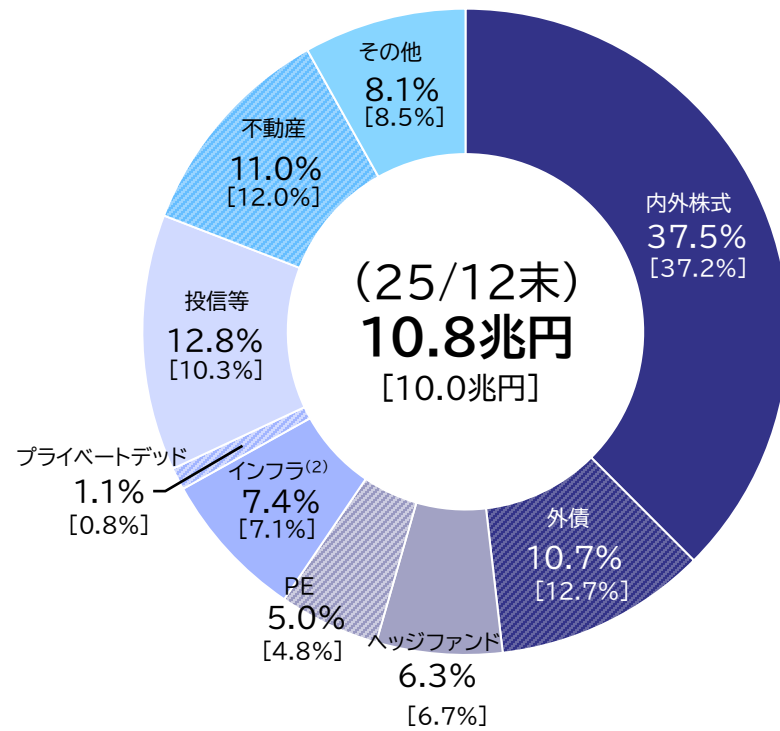


(1) 貸借対照表価額ベース (2) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く (3) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類

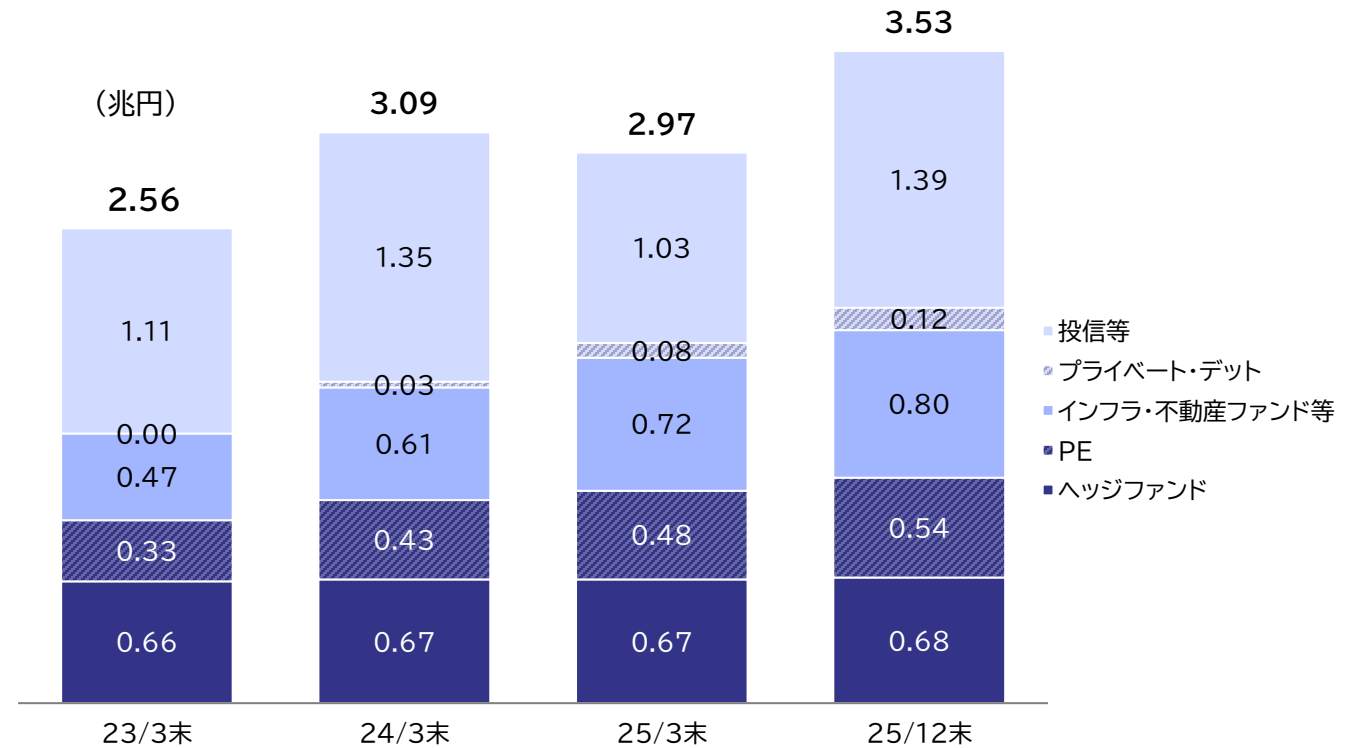
[第一生命] 資産運用の状況⑤ – リスク性資産の状況

リスク性資産等の内訳⁽¹⁾

[括弧内: 25/3末時点]



オルタナティブ資産の積増し状況⁽¹⁾



- 投信等
- プライベート・デット
- インフラ・不動産ファンド等
- PE
- ヘッジファンド

[参考] プライベートクレジット残高

- ▶ 現状におけるプライベートクレジットのエクスポージャーはグループおよび各社ポートフォリオから見て限定的な水準も、クレジットアセットへの投資は増加傾向にあり、今後も増加が見込まれる
- ▶ グループ各社のクレジットアセットのエクスポージャーについてはHDでモニタリングを実施。ファンド投資や証券化商品などプライベート性・複雑性が高いものを中心にモニタリング・予兆管理の強化を進める等、リスク管理の更なる高度化を図る

プライベートクレジット残高(2025年9月末)

	運用資産額 (兆円)	プライベートクレジット ⁽¹⁾ (億円)	運用資産額に 占める構成比 (%)
グループ	58.8	6,300	1.1%
DL	34.1	2,200	0.6%
DFL	9.0	300	0.3%
PLC	12.5	3,700	3.0%
DLRB	3.1	100	0.3%

プライベートクレジットを含むグループ資産運用リスク管理

- BlackRock社のAladdinシステムを活用し、グループ横断的な資産運用リスクモニタリングを実施
(HD・DL・DFL・PLC・DLRB・TAL導入済み:グループ生保運用資産の約9割をカバー)
- 金融機関向けエクスポージャー、低流動性クレジット投資や不動産関係与信の状況のモニタリング等に活用

クレジットイベントの早期検知体制強化
ルックスルーを含む裏付資産のモニタリング体制高度化

 2026年度末までの利活用を目指す

[第一生命]資産運用の状況⑥ 含み損益

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	25/3末	25/12末	前期末比	(%)
有価証券	5,510	△ 1,610	△ 7,120	-
国内債券	△ 20,452	△ 34,150	△ 13,698	-
うち責任準備金対応債券	△ 20,409	△ 33,641	△ 13,231	-
うちその他保有目的債券	△ 42	△ 509	△ 466	-
外国債券	673	1,589	+ 916	+ 136%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	585	1,351	+ 766	+ 131%
国内株式	22,402	26,047	+ 3,645	+ 16%
外国株式	2,357	3,715	+ 1,357	+ 58%
不動産	6,357	6,342	△ 15	△ 0%
一般勘定資産合計	10,217	2,049	△ 8,168	△ 80%

2025年
12月末時点

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内
債券

10年国債利回り10bpの変動で
2,000億円の増減※
(2025年3月末:2,400億円)
※その他有価証券区分:100億円の増減
(2025年3月末:100億円)

10年国債利回り 0.4%※
(2025年3月末:0.7%)
※その他有価証券区分:1.6%
(2025年3月末:1.5%)

国内
株式

日経平均株価1,000円の変動で
700億円の増減
(2025年3月末:900億円)

日経平均株価 ¥13,100
(2025年3月末:¥11,200)

外国
証券

ドル／円1円の変動で
130億円の増減
(2025年3月末:130億円)

ドル／円 \$1 = ¥132
(2025年3月末:¥132)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

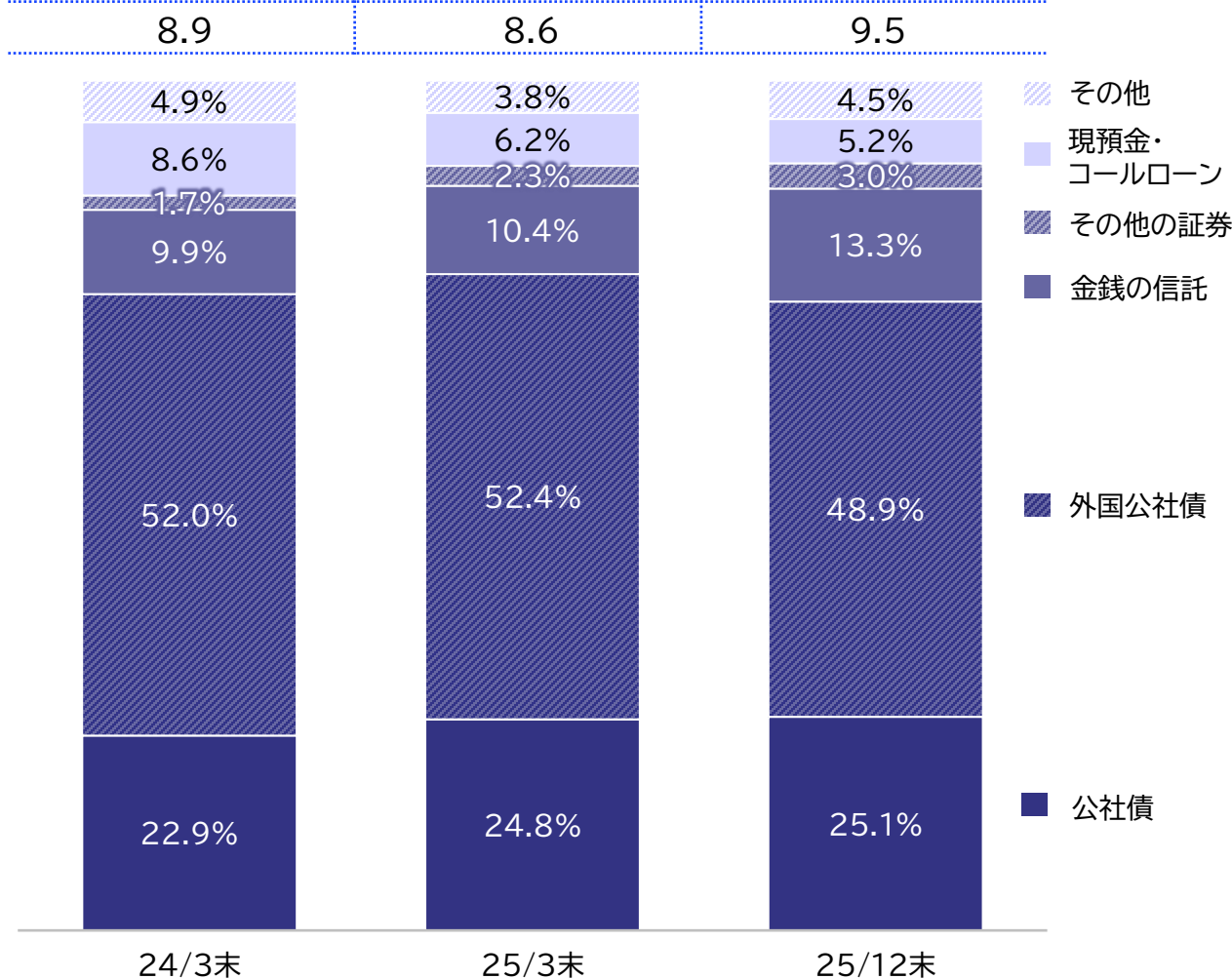
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成



運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾

運用資産合計(兆円)

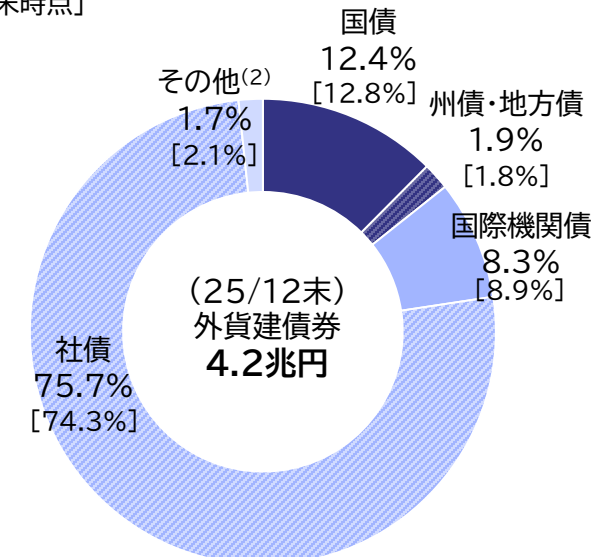
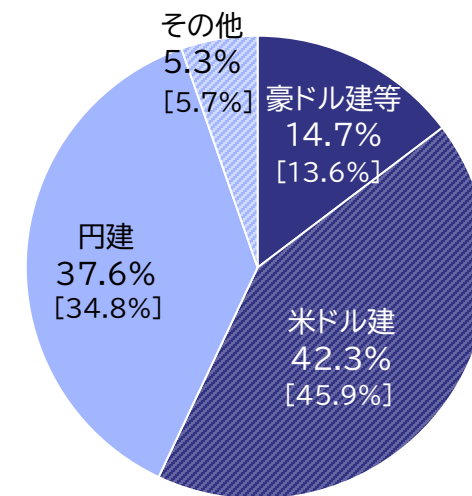


保有目的区分別有価証券の状況 (25/12末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	48,194	44,736	△ 3,459
その他有価証券	30,677	30,210	△ 467
公社債	5,356	5,144	△ 212
外国証券	17,643	17,401	△ 242
その他の証券	2,841	2,838	△ 4

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内: 25/3末時点]

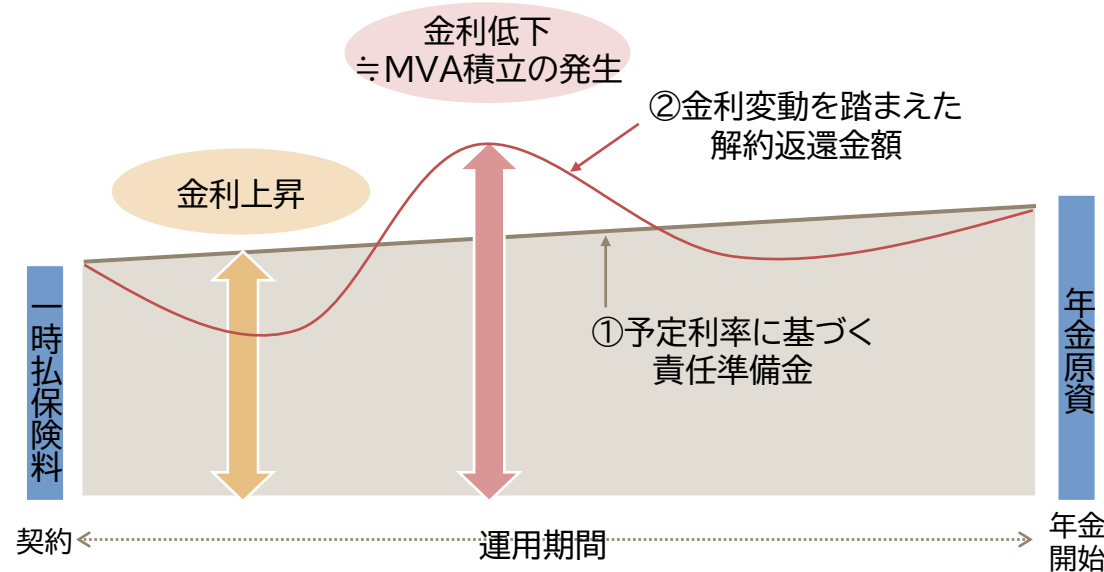


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含む

【参考】MVA(市場価格調整)関連損益について

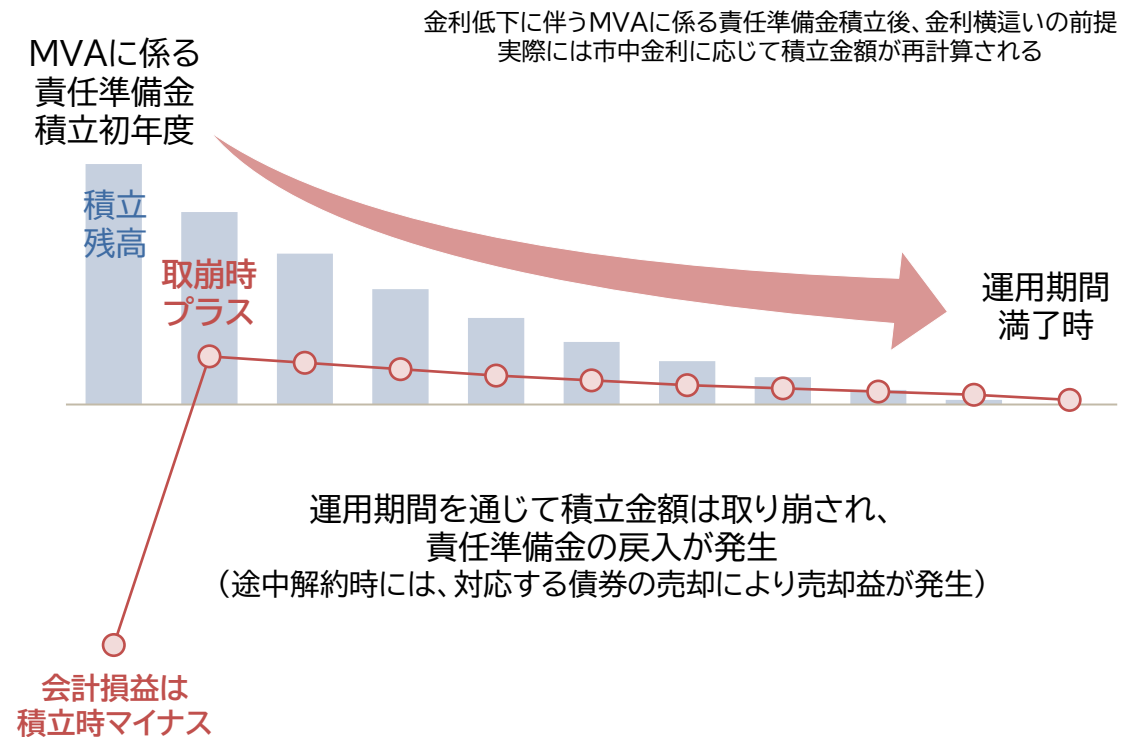
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

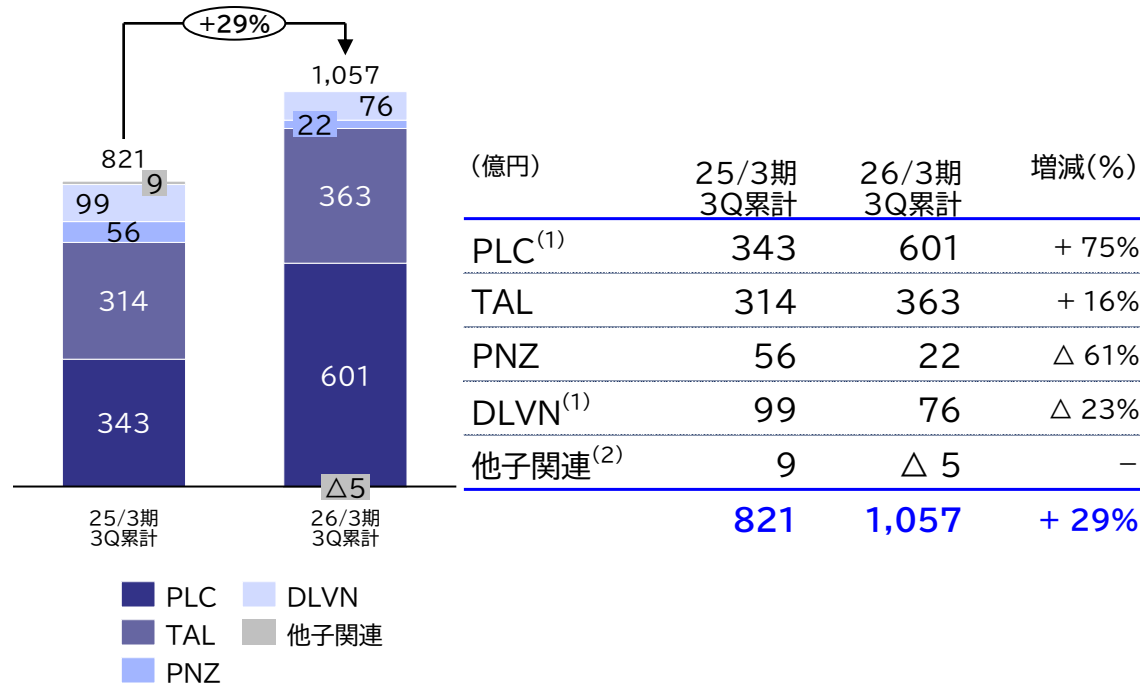
MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[海外保険事業] 修正利益、米プロテクティブ・豪TALのセグメント別営業業績等



海外保険事業 修正利益合計



米プロテクティブ 営業業績等

(百万米ドル)	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	6,513	5,342	△ 1,171	△ 18%
伝統的保険	174	171	△ 3	△ 1%
ユニバーサル保険	90	69	△ 21	△ 23%
BOLI/COLI ⁽³⁾	1,618	689	△ 928	△ 57%
定額年金	3,736	3,454	△ 282	△ 8%
変額年金	896	958	+ 63	+ 7%
アセットプロテクション事業	682	694	+ 12	+ 2%
エンployee・ベネフィット事業	-	71	+ 71	-
スーパバリュー残高(年度始)⁽⁴⁾	12,410	13,150	+ 739	+ 6%
調達	4,102	3,418	△ 685	
償還	△ 3,848	△ 3,617	231	
その他	485	481	△ 5	
残高(3Q末)	13,150	13,431	+ 282	+ 2%

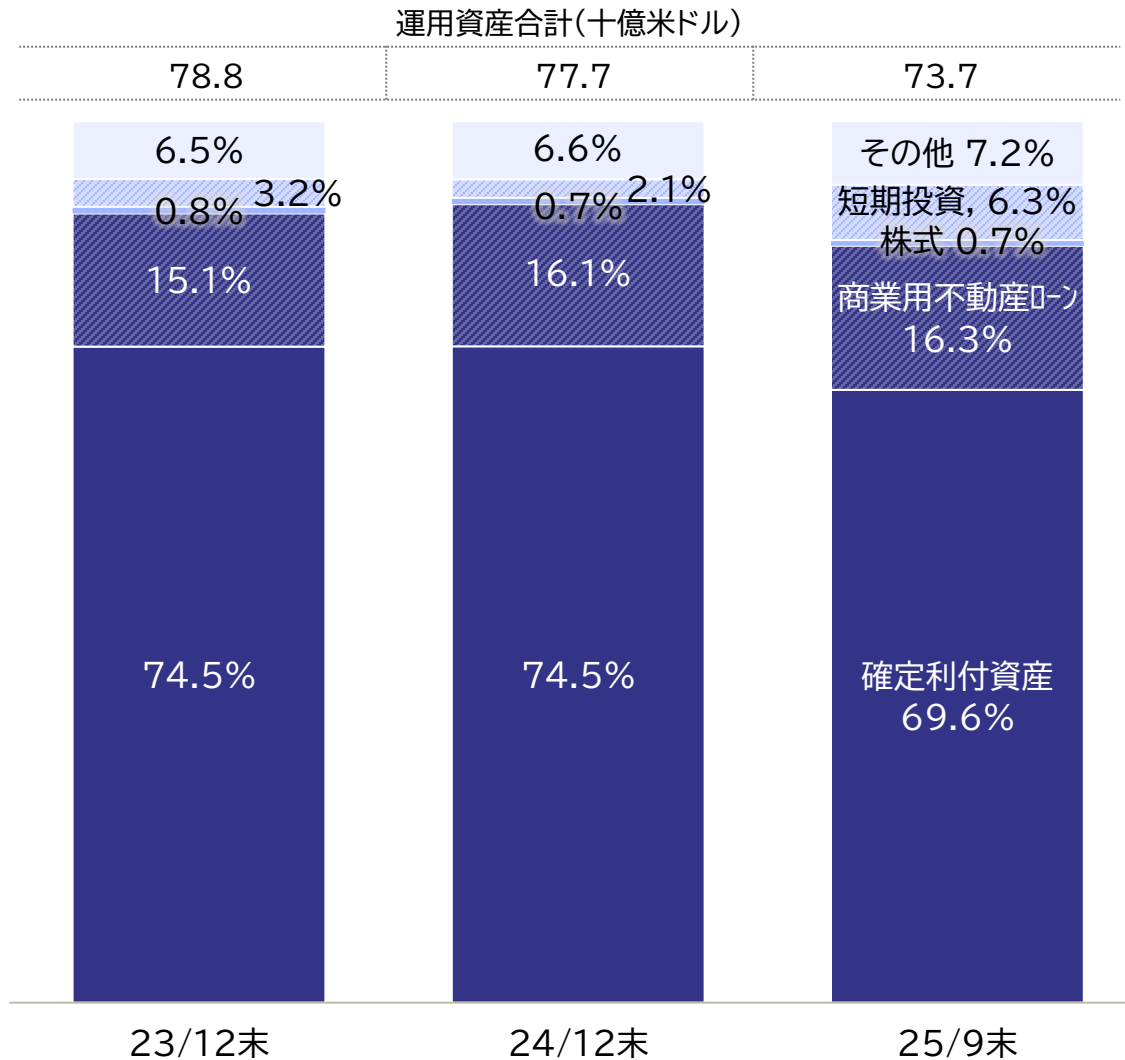
豪TAL 営業業績

(百万豪ドル)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	487	146	△ 341	△ 70%
(TAL) 個人保険	67	74	+ 7	+ 11%
団体保険	419	72	△ 346	△ 83%
TLIS (旧Westpac Life) ⁽⁶⁾	2	-	-	-
既契約増減⁽⁵⁾	△ 30	384	+ 415	-
(TAL) 個人保険	193	276	+ 83	+ 43%
団体保険	△ 338	108	+ 446	-
TLIS (旧Westpac Life) ⁽⁶⁾	114	-	-	-

- (1) PLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDLの5社の決算日は12月31日
 (2) DLKH・DLMM・SUD・PDLの4社の他子関連会社に加えて、26/3期に資本関係を解消したタイOcean Lifeの実績を含む
 (3) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を役員・従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険
 (4) 24/12期より、スーパバリューは営業業績から残高の表示に変更
 (5) 既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す(TLISブロックの統合を含む)
 (6) TLISブロックは26/3期よりTALに統合

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 – 運用資産構成

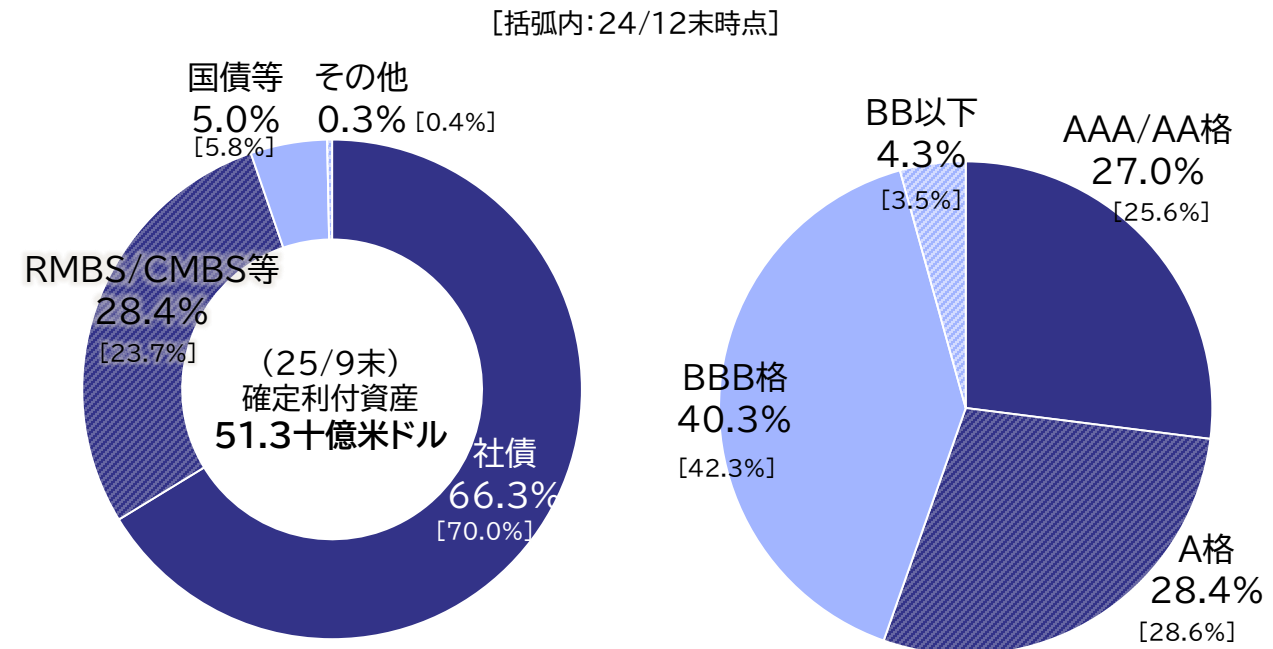
運用資産の構成(一般勘定) (1)(2)



商業用不動産ローンの状況(2)

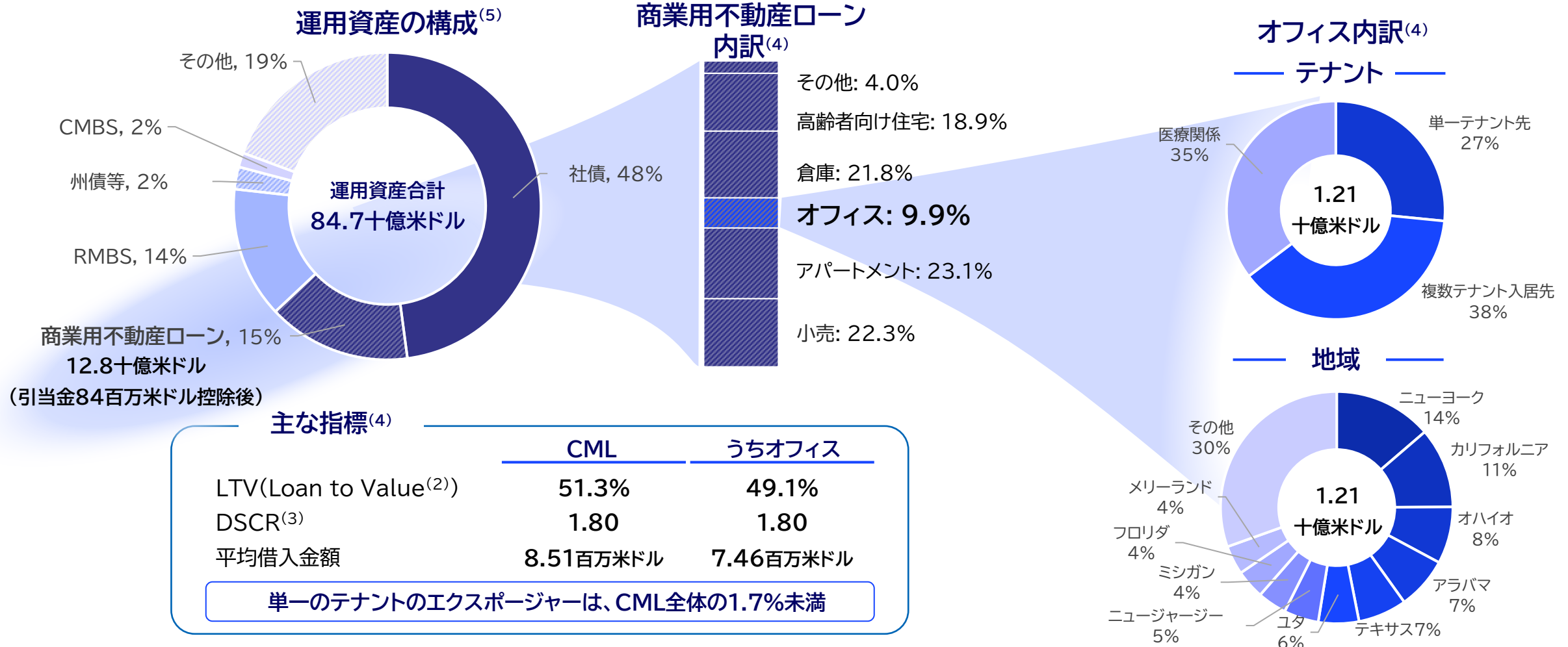
(百万米ドル)	24/12末	25/9末	増減
商業用不動産ローン(引当前)	12,611	12,763	+ 152
不良債権	55	38	△ 17
貸倒引当金	101	87	△ 14
(対ローン残高)	0.8%	0.7%	△ 0.1%pt

確定利付資産の内訳および格付構成 (25/9末)(2)



【参考】【米プロテクティブ】 商業用不動産ローンの状況（2025年12月時点）

- ▶ PLCにおける商業用不動産ローン(CML)への投資において、オフィスの占率は相対的に低い状況で、テナント種別や地域の分散を効かせることで、リスク分散を図っている(PLCのオフィス占率は9.9%である一方、同業他社⁽¹⁾は平均18%)
- ▶ オフィス区分における今後3年間の償還予定の残高は44%程度



(1) 出所: Fitch report on US Life Insurers Commercial Mortgages, May 16, 2025 (2)総資産有利子負債比率:不動産評価額に対する借入金割合

(3) Debt Service Coverage Ratio:キャッシュフロー対比での元金返済額の倍率 (4) 修正共同保険式再保険(Modco)に関わる資産は除く (5) 修正共同保険式再保険(Modco)に関わる資産を含む Copyright © 2026 Dai-ichi Life Holdings, Inc.

グループ修正利益の組替え

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
当期純利益(損失)	3,537	3,703	+ 166	+ 5%
危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	△ 7	89	+ 97	
のれん等償却額	216	300	+ 85	
経済実態と乖離した評価性損益等(PLC)	△ 91	309	+ 400	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動等(TAL)	△ 21	△ 83	△ 61	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動(PNZ)	9	3	△ 5	
資産負債評価に係る調整(DLRB)	△ 31	△ 2	+ 29	
その他	△ 15	△ 99	△ 85	
グループ修正利益	3,596	4,222	+ 626	+ 17%

PLCの調整項目	(億円)
債券評価損・株式評価損益等	+10
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	△6
修正共同保険式再保険に関する損益	+447
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△16
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	△40
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△5
上記に係る税	△80
調整額	+309

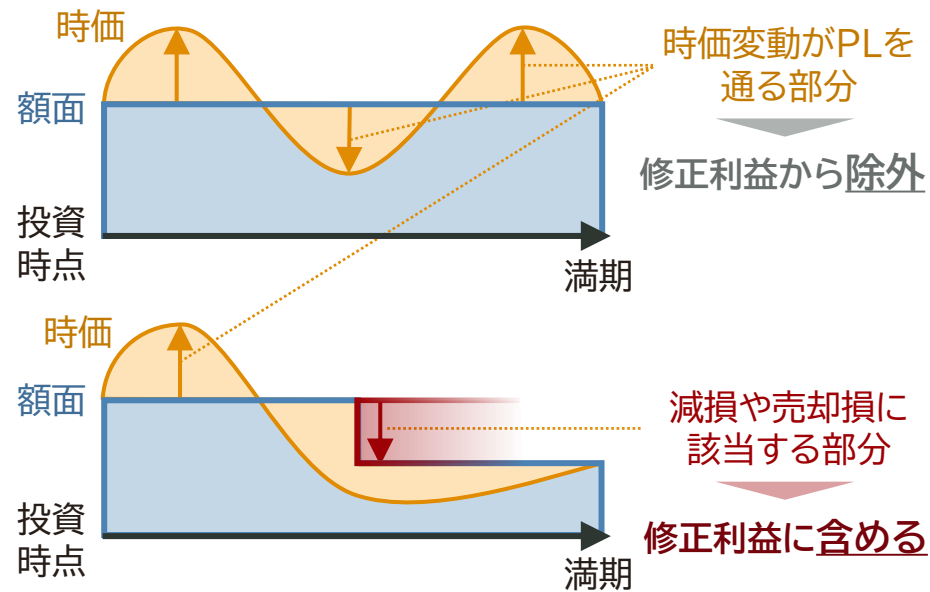
うち DMRE持分変動益 △87

[参考] 修正利益の算出方法の一部変更

- ▶ プロテクティブ、TAL、パートナーズ・ライフの修正利益について、2024年度より会計上の評価損益を修正利益から除くことで、修正利益本来の目的に沿うとともに利益の安定性や還元の予見性の向上につながる
- ▶ なお、配当計算のベースとなる3年間の修正利益について、2023年度以前の分の遡及修正は行わない

プロテクティブのケース

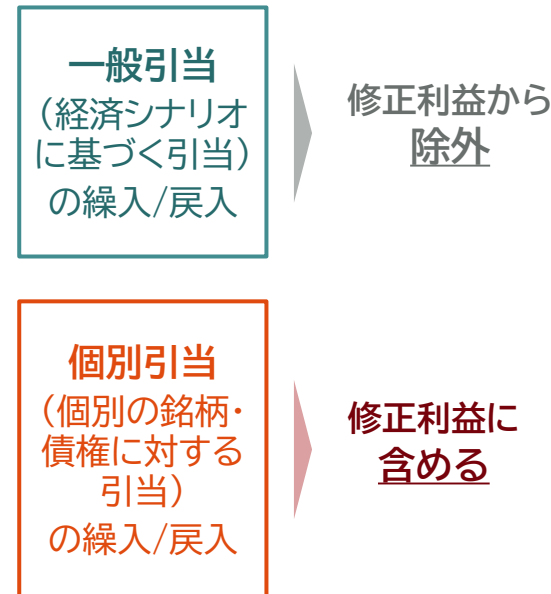
運用やヘッジに係る損益のイメージ



時価変動部分が修正利益から除外される対象項目

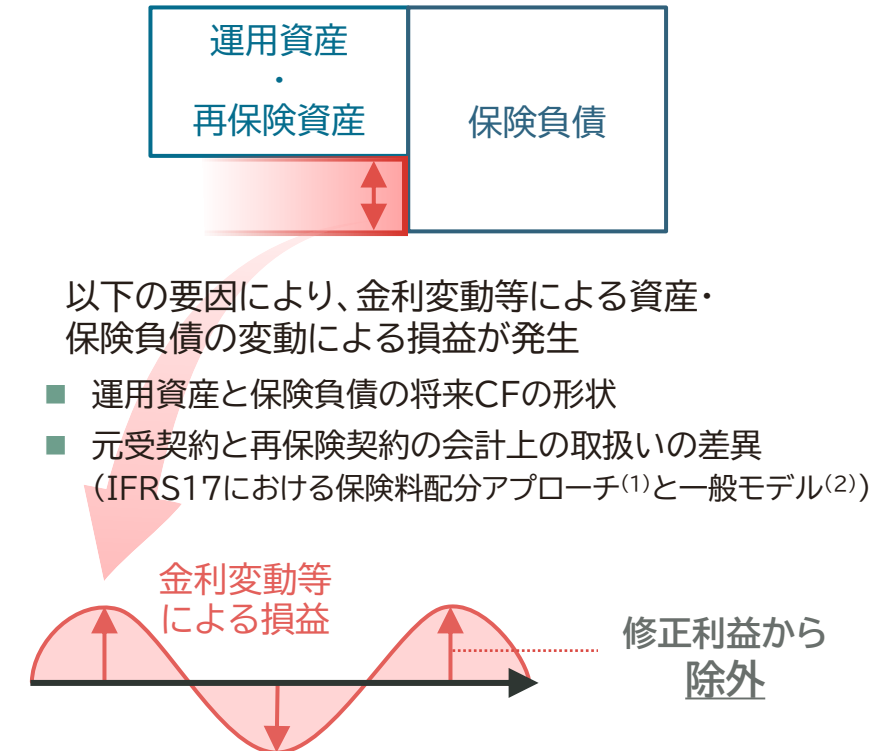
優先株評価損益、修正共同保険式再保険 (Modco) 関連損益、ICOLI損益、最低保証関連損益 (ヘッジ対象とヘッジ手段の双方)、それらに伴うDAC償却の変動等

予想信用損失(CECL)



TAL、パートナーズ・ライフのケース

金利変動等に伴う資産・保険負債の変動



(1) Premium Allocation Approach (2) General Measurement Model
Copyright © 2026 Dai-ichi Life Holdings, Inc.

[参考] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクティブ: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	21/3期	22/3期	23/3期 ⁽²⁾	24/3期	25/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.9%	8.0%	4.9%	8.2%	10.7%
分子(修正利益)	2,828	2,961	1,706	3,194	4,395
分母(年度始・年度末平均)	31,724	37,146	34,518	38,871	41,169
分母(年度末)	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
[分母算出]					
純資産	48,062	44,078	26,613	38,819	34,694
(-) のれん	427	562	1,172	1,152	3,284
(-) 確定利付資産含み損益	12,006	6,287	△ 8,123	△ 6,489	△ 7,426
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	1,219	216	9	14	8
修正ROE用純資産	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
うち株主資本	18,936	19,963	17,538	18,721	20,146
第一生命 修正ROE	8.4%	8.2%	7.3%	8.2%	11.3%
分子(修正利益)	1,745	1,998	1,656	2,039	2,871
分母(年度始・年度末平均)	20,772	24,506	22,642	24,972	25,478
分母(年度末)	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
[分母算出]					
純資産	31,903	27,570	21,000	28,980	23,468
(-) 確定利付資産含み損益	6,859	3,602	△ 315	352	465
修正ROE用純資産	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
うち株主資本	6,792	6,316	5,837	5,526	5,812

グループ修正利益の定義



【調整①】 [危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等
(法定超過分、税後)]
加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

【調整②】 [MVA (市場価格調整) 関連損益(税後) 等]
実質的でない会計上の評価損益を調整

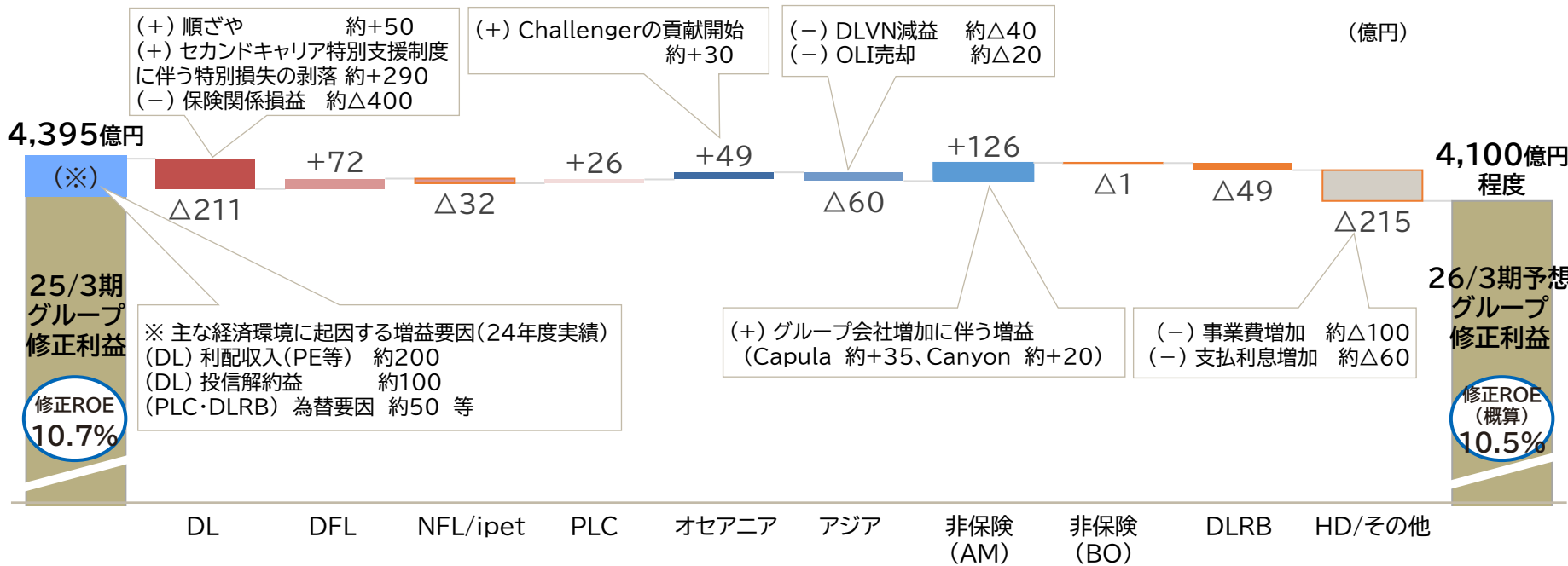
【調整③】 [のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等]
各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益と定義
(2) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、23/3期の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)

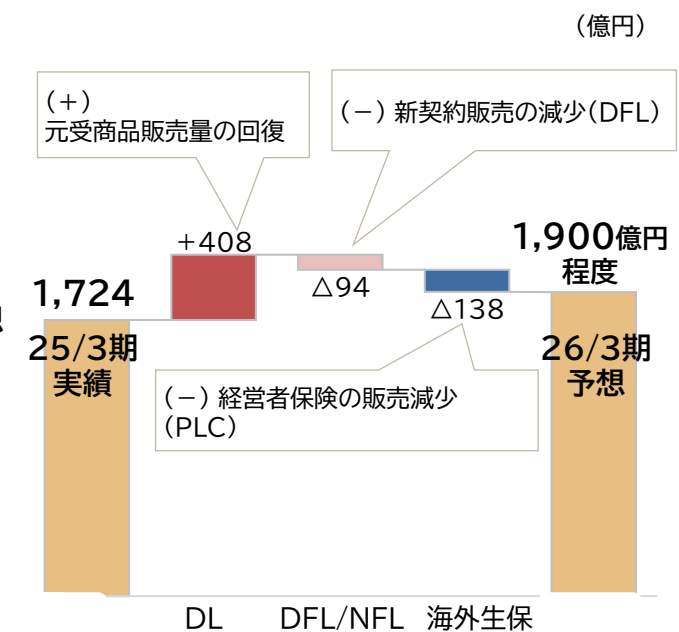
[再掲:期初予想] 2026年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLで、前期の経済環境要因の利配収入が剥落するほか、保険関係損益の減少に伴い減益を見込むが、DFLやオセアニア等の着実な増益により一部を相殺。また、非保険事業におけるアセットマネジメント事業では、近年の戦略投資案件からの早期の利益貢献が見込まれ、2025年度のグループ修正利益は2024年度に続き4,000億円を超える4,100億円を見込む。ROEも2024年度に続いて10%を上回る見通し
- ▶ グループ新契約価値は、販売量の減少が見込まれるDFL・PLCで減少する一方で、新商品の投入により元受商品の販売拡大を見込むDLで前期より増加を見込むことから、グループ全体の予想は1,900億円程度

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



【再掲】株主還元(グループ修正利益の通期見通しの上方修正に伴い一部アップデート)



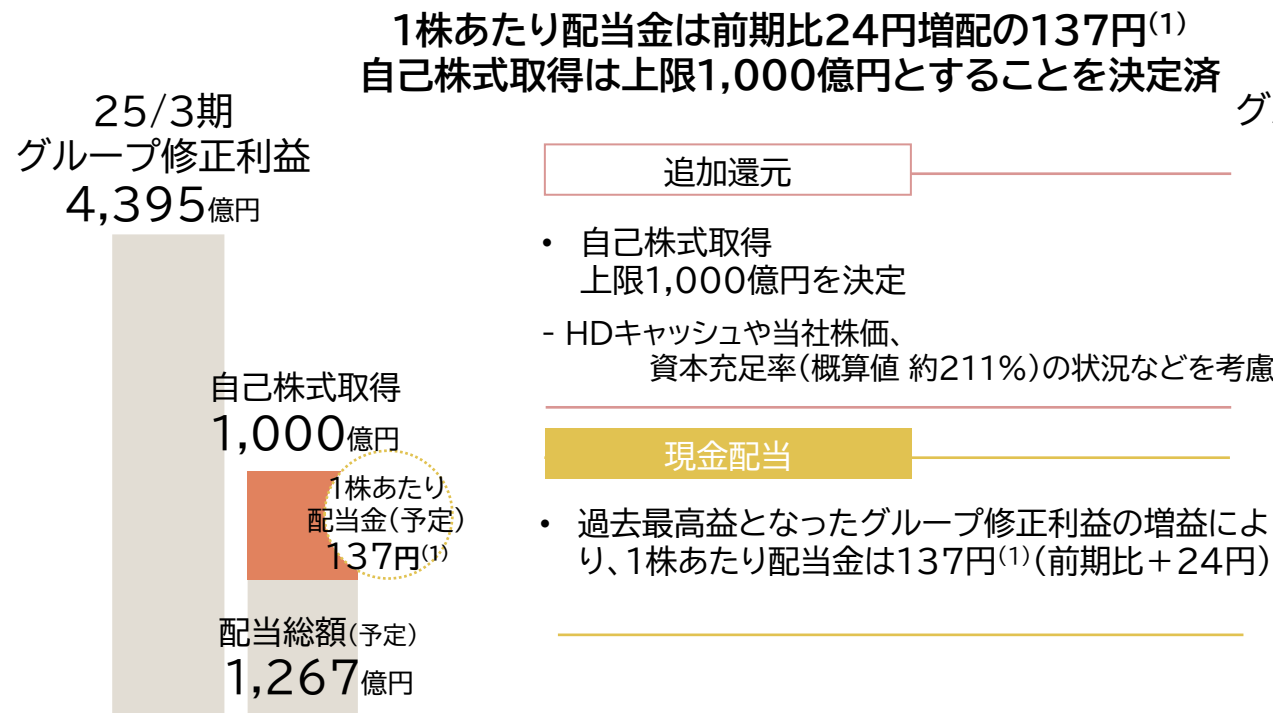
※今回の更新箇所は赤字

- ▶ 25/3期の株主還元は、1株あたり配当金(DPS)137円⁽¹⁾(修正予想対比+4円・期初予想対比+15円)を決定⁽²⁾。
追加還元として、資本効率改善に対する確度を高めること等を目的に、引き続き上限1,000億円とする自己株式取得を決定
- ▶ 26/3期の1株あたり配当金は、資本効率の改善に向けた取組みが着実に進展していることを踏まえ、配当性向の45%への引上げを前提とし、25/3期の増益や計算前提となる3年平均利益の増加に伴い、大幅増配となる52円(株式分割前:208円)を予想

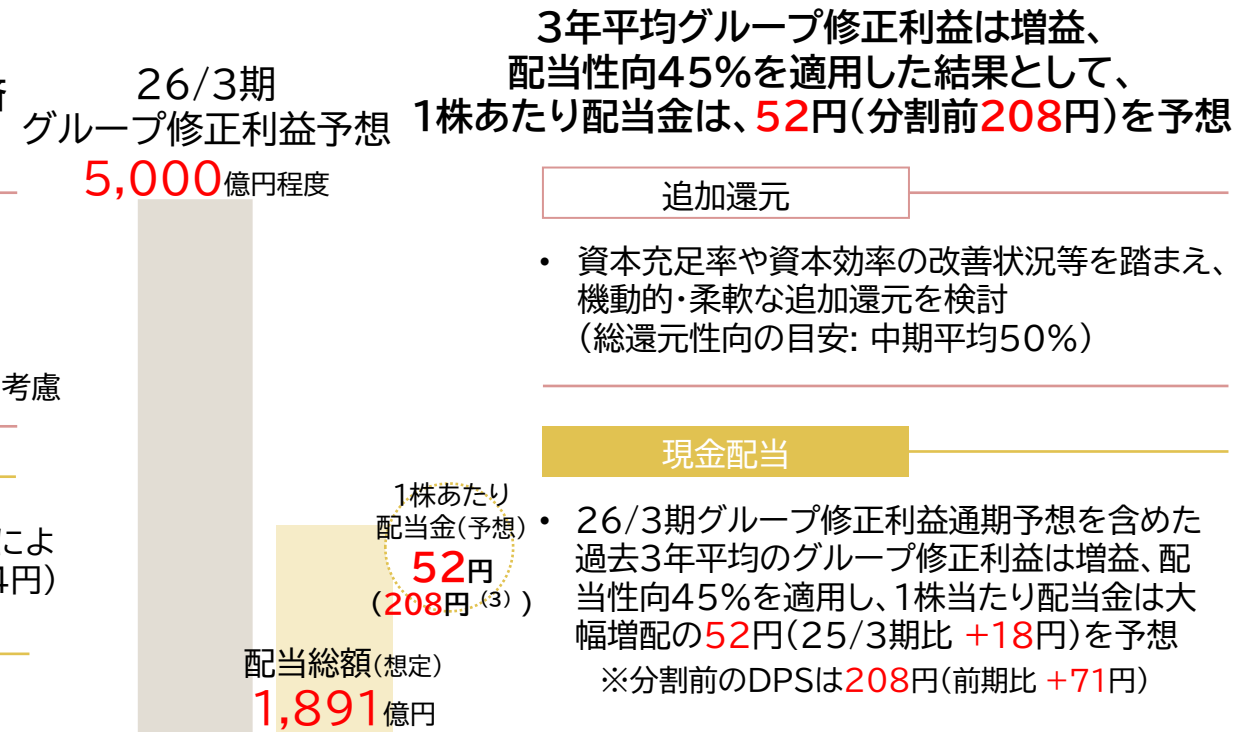
株主還元

〔自己株式消却方針〕 用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

25/3期 株主還元



26/3期 株主還元(予想)



(1) 2025年3月期の期末配当については、2025/4/1を効力発生日として実施した株式分割を実施する前の株式数を基準とした金額 (2)6月の株主総会での決議を経て確定

(3) 括弧内は株式分割前の配当金

[再掲] 株主還元方針(グループ修正利益の通期見通しの上方修正に伴い一部アップデート)



※今回の更新箇所は赤字・下線

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]

用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の
推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

+

[配当性向の推移イメージ]

利益に応じた
安定配当
(26/3期より)

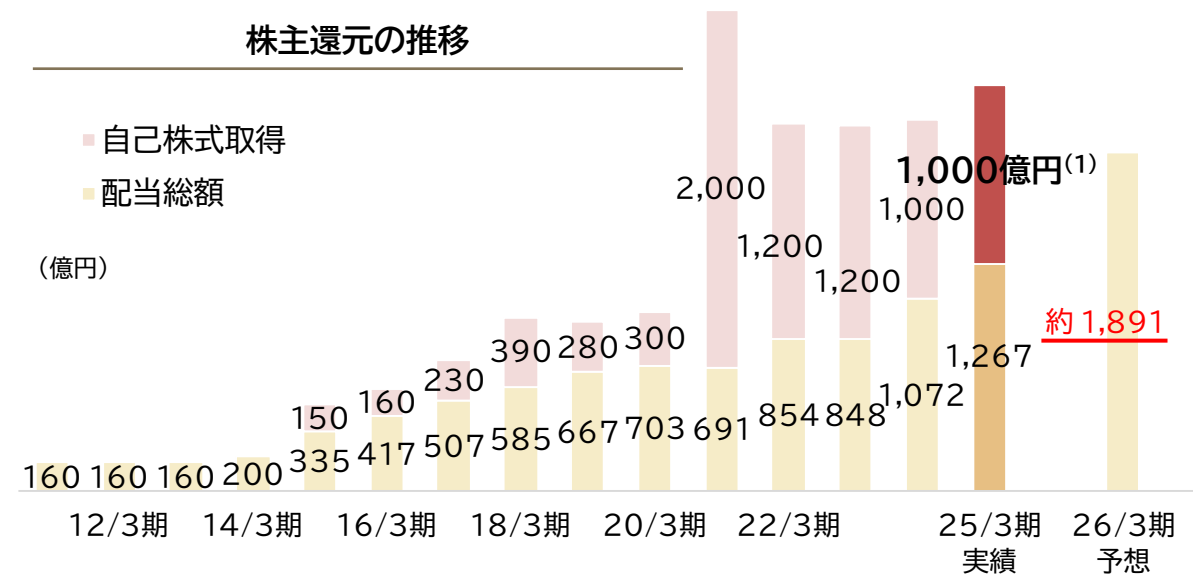
[配当性向] 每期 45%以上

(27/3期中間配当より50%への引き上げを検討中)

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

株主還元の推移

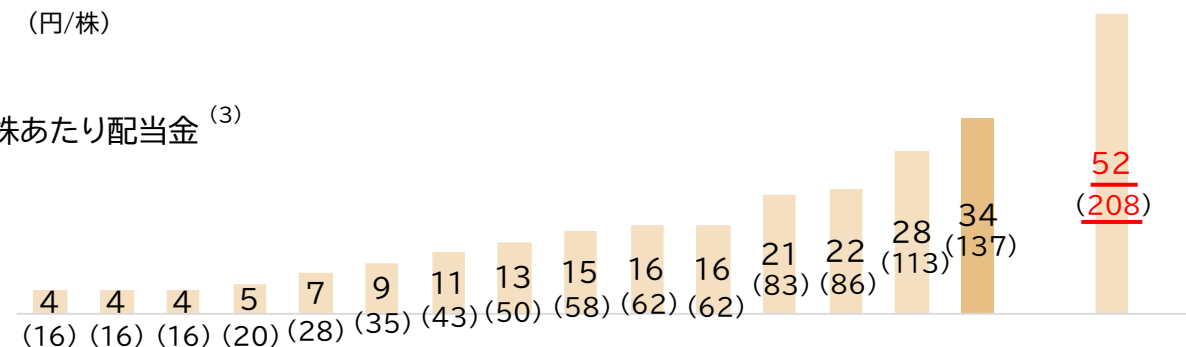
自己株式取得
配当総額
(億円)



グループ修正利益 ⁽²⁾	2,745	2,828	2,961	1,844	3,193	4,395		5,000
過去3年平均								4,196

(円/株)

1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2025年5月15日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) TAL・PNZでは24/3期1QからIFRS17を適用しているが、配当計算上のベースとなるグループ修正利益過去3年平均の算出において、過年度数値の遡及適用は行わない。24/3期以前のグループ修正利益は切り捨て、25/3期以降は四捨五入 (3) 数値は、株式分割(4分割)後の配当金(25/3期以前は、株式分割を考慮した換算額)。括弧内は、株式分割前の配当金(25/3期以前は実績、26/3期は換算額)

第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)



連結損益計算書

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減
経常収益	78,397	83,208	+ 4,810
保険料等収入	51,065	50,914	△ 152
資産運用収益	23,100	27,473	+ 4,373
利息・配当金等収入	11,192	11,764	+ 572
有価証券売却益	4,865	5,499	+ 634
為替差益	1,573	2,532	+ 959
特別勘定資産運用益	354	1,337	+ 982
その他経常収益	4,232	4,821	+ 589
経常費用	72,821	77,230	+ 4,410
保険金等支払金	47,957	46,654	△ 1,303
責任準備金等繰入額	9,786	14,886	+ 5,101
資産運用費用	5,307	5,505	+ 198
有価証券売却損	3,564	3,299	△ 265
有価証券評価損	28	43	+ 15
金融派生商品費用	591	884	+ 293
事業費	7,254	7,553	+ 299
経常利益(△は損失)	5,576	5,977	+ 401
特別利益	184	215	+ 32
特別損失	361	310	△ 51
契約者配当準備金繰入額	620	714	+ 94
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	4,779	5,169	+ 389
法人税等合計	1,242	1,465	+ 223
非支配株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	3,537	3,703	+ 166

連結貸借対照表

(億円)	25/3末	25/12末	増減
資産の部合計	695,930	723,847	+ 27,917
現預金・コール	24,557	23,921	△ 636
買入金銭債権	2,072	1,943	△ 129
有価証券	530,339	547,056	+ 16,717
貸付金	51,309	48,795	△ 2,514
有形固定資産	12,732	12,515	△ 217
繰延税金資産	1,710	1,521	△ 189
負債の部合計	661,233	683,052	+ 21,819
保険契約準備金	595,662	600,133	+ 4,471
責任準備金	577,019	580,694	+ 3,675
短期社債	419	315	△ 103
社債	11,531	11,386	△ 146
その他負債	43,795	48,107	+ 4,312
退職給付に係る負債	1,579	1,555	△ 24
価格変動準備金	3,422	3,560	+ 138
繰延税金負債	977	2,437	+ 1,459
純資産の部合計	34,697	40,795	+ 6,098
株主資本合計	20,146	22,186	+ 2,040
その他の包括利益累計額合計	14,548	18,607	+ 4,058
その他有価証券評価差額金	10,545	16,280	+ 5,735
土地再評価差額金	490	547	+ 58

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 – 財務諸表(要約)



損益計算書

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減
経常収益	30,782	33,032	+ 2,250
保険料等収入	15,735	16,835	+ 1,100
資産運用収益	10,810	12,512	+ 1,702
利息・配当金等収入	5,549	5,688	+ 139
有価証券売却益	4,696	5,267	+ 571
為替差益	-	228	+ 228
特別勘定資産運用益	378	1,200	+ 822
その他経常収益	4,237	3,685	△ 552
経常費用	26,755	28,144	+ 1,389
保険金等支払金	17,743	19,123	+ 1,380
責任準備金等繰入額	64	65	+ 2
資産運用費用	4,212	4,087	△ 124
有価証券売却損	2,863	2,711	△ 152
有価証券評価損	43	18	△ 25
金融派生商品費用	338	396	+ 58
為替差損	215	-	△ 215
事業費	2,970	3,047	+ 78
その他経常費用	1,767	1,821	+ 54
減価償却費	317	320	+ 3
経常利益(△は損失)	4,027	4,888	+ 861
特別利益	179	127	△ 52
特別損失	306	173	△ 133
契約者配当準備金繰入額	620	714	+ 94
税引前四半期純利益(△は損失)	3,281	4,129	+ 847
法人税等合計	853	1,143	+ 290
四半期純利益(△は損失)	2,428	2,986	+ 558

貸借対照表

(億円)	25/3末	25/12末	増減
資産の部合計	351,368	353,641	+ 2,273
現預金・コール	7,734	7,067	△ 667
買入金銭債権	1,919	1,815	△ 104
有価証券	287,295	291,876	+ 4,581
貸付金	34,230	32,848	△ 1,382
有形固定資産	12,196	12,007	△ 188
負債の部合計	327,899	326,576	△ 1,323
保険契約準備金	288,910	286,639	△ 2,272
責任準備金	282,777	280,721	△ 2,056
危険準備金	5,579	5,529	△ 50
社債	5,768	5,768	-
その他負債	25,680	25,387	△ 293
退職給付引当金	3,252	3,016	△ 236
価格変動準備金	2,885	2,975	+ 90
繰延税金負債	571	2,079	1,508
純資産の部合計	23,468	27,064	3,596
株主資本合計	5,812	5,717	△ 95
評価・換算差額等合計	17,656	21,348	3,691
その他有価証券評価差額金	18,426	22,788	4,362
土地再評価差額金	490	547	57

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)



損益計算書

(億円)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減
経常収益	27,475	27,849	+ 374
保険料等収入	23,773	23,133	△ 640
資産運用収益	3,500	4,664	+ 1,164
為替差益	1,762	2,290	+ 528
その他経常収益	202	52	△ 150
経常費用	27,049	27,672	+ 623
保険金等支払金	25,452	20,201	△ 5,251
責任準備金等繰入額	76	6,518	+ 6,442
危険準備金繰入額	57	164	+ 107
資産運用費用	685	145	△ 541
事業費	687	654	△ 32
その他経常費用	150	154	+ 4
経常利益(△は損失)	426	177	△ 249
特別損失	46	48	+ 2
法人税等合計	108	39	△ 69
四半期純利益(△は損失)	272	90	△ 182

貸借対照表

(億円)	25/3末	25/12末	増減
資産の部合計	88,239	96,362	+ 8,123
現預金・コール	5,399	4,960	△ 439
有価証券	70,811	75,135	+ 4,324
負債の部合計	85,659	93,714	+ 8,055
保険契約準備金	79,851	86,318	+ 6,466
責任準備金	79,364	85,882	+ 6,518
(MVA残高)	11	11	+ 1
危険準備金	1,201	1,365	+ 164
純資産の部合計	2,580	2,648	+ 68
株主資本合計	2,901	2,991	+ 90
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	1,051	1,141	+ 90
その他有価証券評価差額金	△321	△343	△ 22

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減
経常収益	11,047	10,449	△ 598
保険料等収入	4,385	3,777	△ 608
資産運用収益	4,915	4,982	+ 67
その他経常収益	1,747	1,690	△ 56
経常費用	10,673	10,212	△ 461
保険金等支払金	4,446	4,665	+ 220
責任準備金等繰入額	4,549	3,447	△ 1,102
資産運用費用	399	806	+ 407
事業費	995	1,058	+ 63
その他経常費用	285	235	△ 50
経常利益(△は損失)	374	238	△ 136
特別利益	2	-	△ 2
特別損失	0	7	+ 7
法人税等合計	72	35	△ 37
四半期純利益(△は損失)	304	196	△ 108

貸借対照表

(百万米ドル)	24/12末	25/9末	増減
資産の部合計	124,479	139,413	+ 14,935
現金	640	1,506	+ 866
有価証券	80,795	86,052	+ 5,257
貸付金	14,062	14,179	+ 117
有形固定資産	206	196	△ 9
無形固定資産	4,155	2,703	△ 1,452
のれん	1,197	1,213	+ 16
その他の無形固定資産	2,916	1,427	△ 1,489
再保険貸	12,662	13,179	+ 516
負債の部合計	120,734	135,063	+ 14,329
保険契約準備金	112,678	118,154	+ 5,476
再保険借	487	8,459	+ 7,972
短期社債	265	212	△ 53
社債	1,637	1,635	△ 2
その他負債	5,619	6,558	+ 939
純資産の部合計	3,744	4,350	+ 605
株主資本合計	8,522	8,536	+ 14
その他の包括利益累計額合計	△4,778	△4,187	+ 591

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減
経常収益	6,360	6,340	△ 20
保険料等収入	5,885	5,883	△ 2
保険料	4,690	4,772	+ 82
再保険収入	1,195	1,111	△ 84
資産運用収益	454	408	△ 45
その他経常収益	21	48	+ 27
経常費用	5,869	5,755	△ 114
保険金等支払金	4,623	4,588	△ 35
保険金	3,366	3,601	+ 235
再保険料	1,257	986	△ 271
責任準備金等繰入額	-	69	+ 69
資産運用費用	43	37	△ 6
事業費	1,193	1,049	△ 144
その他経常費用	10	12	+ 2
経常利益(△は損失)	491	585	+ 93
特別損益(△は損失)	-	-	-
法人税等合計	151	160	+ 9
四半期純利益(△は損失)	340	425	+ 85
基礎的収益力	347	345	△ 3

貸借対照表

(百万豪ドル)	25/3末	25/12末	増減
資産の部合計	18,429	18,416	△ 13
現預金	1,629	674	△ 954
買現先勘定	-	-	-
有価証券	9,895	11,170	+ 1,274
有形固定資産	159	149	△ 9
無形固定資産	786	786	-
のれん	786	786	-
その他資産	4,803	4,640	△ 163
繰延税金資産	1,157	996	△ 161
負債の部合計	15,989	15,807	△ 182
保険契約準備金	13,829	13,698	△ 131
その他負債	2,160	2,109	△ 51
純資産の部合計	2,440	2,609	+ 169
株主資本合計	2,440	2,609	+ 169
資本金	3,056	3,056	-
利益剰余金	△615	△447	+ 169

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(十億越ドン)	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減
経常収益	16,955	16,977	+ 22
保険料等収入	14,345	13,818	△ 527
資産運用収益	2,609	3,157	+ 549
その他経常収益	1	1	+ 0
経常費用	14,843	15,200	+ 358
保険金等支払金	4,079	4,584	+ 505
責任準備金等繰入額	5,404	6,199	+ 795
資産運用費用	0	-	△ 0
事業費	5,278	4,326	△ 952
その他経常費用	82	92	+ 10
経常利益(△は損失)	2,112	1,777	△ 336
特別利益	22	7	△ 15
特別損失	3	5	+ 2
法人税等合計	420	424	+ 4
四半期純利益(△は損失)⁽²⁾	1,712	1,355	△ 357

貸借対照表

(十億越ドン)	24/12末	25/9末	増減
資産の部合計	75,203	82,268	+ 7,064
現預金	15,668	19,778	+ 4,110
有価証券	47,914	51,172	+ 3,258
貸付金	2,023	2,276	+ 254
有形固定資産	152	113	△ 39
無形固定資産	51	38	△ 13
再保険貸	-	63	+ 63
負債の部合計	53,792	60,047	+ 6,255
保険契約準備金	51,586	57,785	+ 6,199
再保険借	70	92	+ 22
その他負債	2,133	2,156	+ 24
純資産の部合計	21,411	22,220	+ 809
株主資本合計	21,411	22,220	+ 809

(1)ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

(2)DLVNの2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

主要子会社別損益計算書(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトイブ			豪TAL			第一生命ベトナム ⁽¹⁾			連結		
	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減
経常収益	30,782	33,032	+ 2,250	27,475	27,849	+ 374	1,054	1,193	+ 139	15,768	15,557	△ 211	6,264	6,645	+ 381	983	956	△ 27	78,397	83,208	+ 4,810
保険料等収入	15,735	16,835	+ 1,100	23,773	23,133	△ 640	1,038	1,107	+ 69	6,259	5,623	△ 636	5,797	6,167	+ 370	832	778	△ 53	51,065	50,914	△ 152
資産運用収益	10,810	12,512	+ 1,702	3,500	4,664	+ 1,164	8	11	+ 3	7,016	7,417	+ 402	447	428	△ 19	151	178	+ 27	23,100	27,473	+ 4,373
利息・配当金等収入	5,549	5,688	+ 139	1,531	1,580	+ 49	8	11	+ 3	3,961	4,365	+ 405	23	21	△ 2	122	144	+ 22	11,192	11,764	+ 572
有価証券売却益	4,696	5,267	+ 571	5	33	+ 27	-	-	-	163	199	+ 36	-	-	-	-	-	-	4,865	5,499	+ 634
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差益	-	228	+ 228	1,762	2,290	+ 528	-	-	-	0	1	+ 1	-	-	-	-	0	+ 0	1,573	2,532	+ 959
特別勘定資産運用益	378	1,200	+ 822	-	137	+ 137	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	354	1,337	+ 982
その他経常収益	4,237	3,685	△ 552	202	52	△ 150	9	76	+ 67	2,493	2,517	+ 24	21	50	+ 30	0	0	△ 0	4,232	4,821	+ 589
経常費用	26,755	28,144	+ 1,389	27,049	27,672	+ 623	1,090	1,245	+ 155	15,234	15,203	△ 31	5,781	6,032	+ 252	860	856	△ 4	72,821	77,230	+ 4,410
保険金等支払金	17,743	19,123	+ 1,380	25,452	20,201	△ 5,251	762	771	+ 8	6,346	6,946	+ 600	4,554	4,809	+ 255	236	258	+ 22	47,957	46,654	△ 1,303
責任準備金等繰入額	64	65	+ 2	76	6,518	+ 6,442	32	143	+ 111	6,492	5,132	△ 1,360	-	73	+ 73	313	349	+ 36	9,786	14,886	+ 5,101
資産運用費用	4,212	4,087	△ 124	685	145	△ 541	0	0	+ 0	569	1,199	+ 631	42	39	△ 3	0	-	△ 0	5,307	5,505	+ 198
有価証券売却損	2,863	2,711	△ 152	505	26	△ 480	-	-	-	195	561	+ 365	-	-	-	-	-	-	3,564	3,299	△ 265
有価証券評価損	43	18	△ 25	-	-	-	-	-	-	△ 15	24	+ 40	-	-	-	-	-	-	28	43	+ 15
金融派生商品費用	338	396	+ 58	116	100	△ 15	-	-	-	141	418	+ 276	-	-	-	-	-	-	591	884	+ 293
為替差損	215	-	△ 215	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	+ 0	0	-	△ 0	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	-	-	24	-	△ 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	2,970	3,047	+ 78	687	654	△ 32	266	298	+ 32	1,421	1,576	+ 155	1,175	1,100	△ 75	306	244	△ 62	7,254	7,553	+ 299
経常利益(△は損失)	4,027	4,888	+ 861	426	177	△ 249	△ 36	△ 51	△ 16	534	354	△ 180	484	613	+ 129	122	100	△ 22	5,576	5,977	+ 401
特別利益	179	127	△ 52	-	-	-	-	-	-	3	-	△ 3	-	-	-	1	0	△ 1	184	215	+ 32
特別損失	306	173	△ 133	46	48	+ 2	0	0	△ 0	0	11	+ 10	-	-	-	0	0	+ 0	361	310	△ 51
契約者配当準備金繰入額	620	714	+ 94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	620	714	+ 94
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	3,281	4,129	+ 847	380	129	△ 251	△ 36	△ 51	△ 15	536	343	△ 193	484	613	+ 129	124	100	△ 23	4,779	5,169	+ 389
法人税等合計	853	1,143	+ 290	108	39	△ 69	△ 9	△ 14	△ 5	102	52	△ 51	149	167	+ 19	24	24	△ 0	1,242	1,465	+ 223
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益(△は損失)	2,428	2,986	+ 558	272	90	△ 182	△ 27	△ 38	△ 11	434	291	△ 143	335	445	+ 110	99	76	△ 23	3,537	3,703	+ 166

(1)DLVNの2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

主要子会社別貸借対照表(要約)



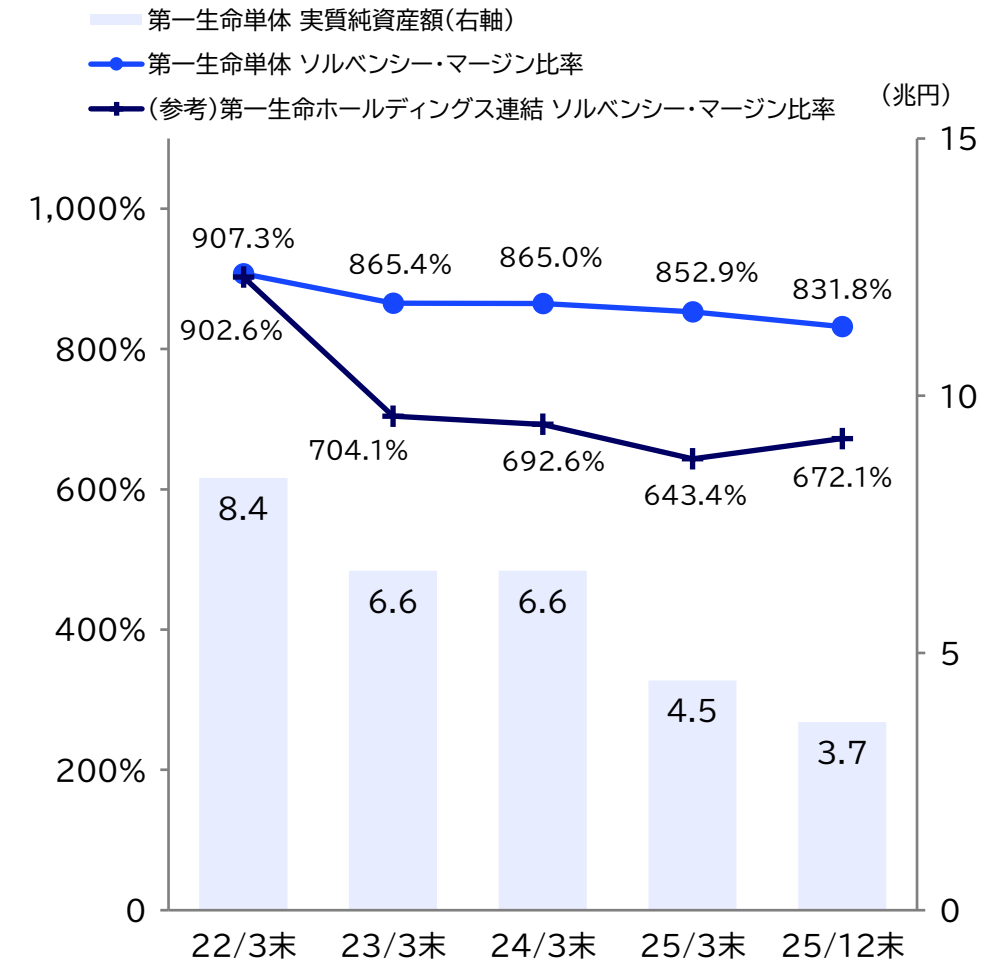
(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトィブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	25/3末	25/12末	増減	25/3末	25/12末	増減	25/3末	25/12末	増減	24/12末	25/9末	増減	25/3末	25/12末	増減	24/12末	25/9末	増減	25/3末	25/12末	増減
資産の部合計	351,368	353,641	+ 2,273	88,239	96,362	+ 8,123	3,496	3,529	+ 33	196,900	207,558	+ 10,658	17,318	19,304	+ 1,986	4,667	4,634	△ 33	695,930	723,847	+ 27,917
現預金・コール	7,734	7,067	△ 667	5,399	4,960	△ 439	904	758	△ 146	1,012	2,242	+ 1,230	1,530	707	△ 824	972	1,114	+ 142	24,557	23,921	△ 636
買入金銭債権	1,919	1,815	△ 104	153	128	△ 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,072	1,943	△ 129
有価証券	287,295	291,876	+ 4,581	70,811	75,135	+ 4,324	1,878	1,961	+ 83	127,801	128,114	+ 312	9,299	11,708	+ 2,410	2,974	2,883	△ 91	530,339	547,056	+ 16,717
貸付金	34,230	32,848	△ 1,382	-	-	-	18	17	△ 1	22,243	21,109	△ 1,133	-	-	-	126	128	+ 3	51,309	48,795	△ 2,514
有形固定資産	12,196	12,007	△ 188	9	8	△ 1	3	3	△ 0	325	292	△ 33	149	157	+ 7	9	6	△ 3	12,732	12,515	△ 217
無形固定資産	1,197	1,178	△ 19	165	168	+ 3	112	117	+ 5	6,573	4,024	△ 2,549	739	824	+ 85	3	2	△ 1	11,073	8,311	△ 2,761
繰延税金資産	-	-	-	592	653	+ 61	22	23	+ 1	605	462	△ 143	1,087	1,044	△ 43	5	4	△ 0	1,710	1,521	△ 189
負債の部合計	327,899	326,576	△ 1,323	85,659	93,714	+ 8,055	3,201	3,273	+ 72	190,977	201,083	+ 10,105	15,025	16,569	+ 1,544	3,338	3,382	+ 44	661,233	683,052	+ 21,819
保険契約準備金	288,910	286,639	△ 2,272	79,851	86,318	+ 6,466	3,103	3,179	+ 75	178,234	175,908	△ 2,326	12,995	14,358	+ 1,363	3,201	3,255	+ 54	595,662	600,133	+ 4,471
責任準備金	282,777	280,721	△ 2,056	79,364	85,882	+ 6,518	2,829	2,972	+ 143	176,785	174,490	△ 2,295	3,084	3,254	+ 169	3,119	3,177	+ 59	577,019	580,694	+ 3,675
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	419	315	△ 103	-	-	-	-	-	-	419	315	△ 103
社債	5,768	5,768	-	-	-	-	-	-	-	2,589	2,434	△ 155	-	-	-	-	-	-	11,531	11,386	△ 146
その他負債	25,680	25,387	△ 293	2,943	4,274	+ 1,331	60	59	△ 2	8,888	9,764	+ 876	2,030	2,211	+ 181	132	121	△ 11	43,795	48,107	+ 4,312
退職給付に係る負債	3,252	3,016	△ 236	-	-	-	-	-	-	77	67	△ 10	-	-	-	0	1	+ 1	1,579	1,555	△ 24
価格変動準備金	2,885	2,975	+ 90	537	585	+ 48	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,422	3,560	+ 138
繰延税金負債	571	2,079	+ 1,508	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	977	2,437	+ 1,459
純資産の部合計	23,468	27,064	+ 3,596	2,580	2,648	+ 68	295	256	△ 38	5,923	6,476	+ 553	2,293	2,735	+ 442	1,329	1,252	△ 77	34,697	40,795	+ 6,098
株主資本合計	5,812	5,717	△ 95	2,901	2,991	+ 90	295	258	△ 38	10,210	10,228	+ 18	1,926	2,109	+ 183	1,129	1,175	+ 46	20,146	22,186	+ 2,040
その他の包括利益累計額合計	17,656	21,348	+ 3,691	△321	△343	△ 22	△1	△1	△ 1	△4,287	△3,752	+ 535	367	626	+ 259	200	77	△ 123	14,548	18,607	+ 4,058
その他有価証券評価差額金	18,426	22,788	+ 4,362	△321	△343	△ 22	△1	△1	△ 1	△7,569	△6,213	+ 1,356	-	-	-	-	-	-	10,545	16,280	+ 5,735
土地再評価差額金	490	547	+ 57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490	547	+ 58

第一生命グループー連結ソルベンシー・マージン比率



ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

(億円)	25/3末	25/12末	増減
ソルベンシー・マージン総額(A)	63,628	76,048	+ 12,419
資本金等 ⁽¹⁾	9,965	15,394	+ 5,429
価格変動準備金	3,422	3,560	+ 138
危険準備金	6,799	6,914	+ 115
異常危険準備金	73	70	△ 4
一般貸倒引当金	20	10	△ 10
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	13,418	19,983	+ 6,565
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	4,542	4,522	△ 20
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	1,782	1,565	△ 217
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,563	23,844	+ 281
負債性資本調達手段等	11,318	11,693	+ 375
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,265	△6,993	+ 272
少額短期保険業者に係る マージン総額	0	0	+ 0
控除項目	△4,683	△6,124	△ 1,440
その他	675	1,609	+ 934
リスクの合計額(B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_5^2) + R_6 + R_9]^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_8$	19,777	22,627	+ 2,850
保険リスク相当額 R ₁	1,713	1,713	+ 0
一般保険リスク相当額 R ₅	278	276	△ 3
巨大災害リスク相当額 R ₆	21	19	△ 2
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	1,792	1,890	+ 98
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R ₉	0	0	+ 0
予定利率リスク相当額 R ₂	2,091	2,140	+ 49
最低保証リスク相当額 R ₇ ⁽²⁾	888	860	△ 28
資産運用リスク相当額 R ₃	15,996	18,795	+ 2,799
経営管理リスク相当額 R ₄	456	514	+ 58
ソルベンシー・マージン比率 (A)／{(1/2)×(B)}	643.4%	672.1%	+28.7%pt



(1) 社外流出予定額およびその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

ESGスコアおよび外部評価

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

SCORE 73/100 (2024年度)
アジアパシフィックインデックス構成銘柄

MSCI 

格付 AA (2024年度)



格付 A- (2024年度)
FTSE4Good Index Series構成銘柄

 **SUSTAINALYTICS**

ESG Risk Rating
Medium Risk(2025年3月末)

 **FTSE
RUSSELL**
An LSEG Business

3.6/5 (2024年度)
FTSE4Good Index Series構成銘柄

今後のIRイベント - 予定

当社主催 (~2026/10)	イベント		主な登壇者
	2026年5月15日	26年3月期 決算電話会議	グループCFO
	2026年5月27日	26年3月期 決算・経営説明会	グループCEO グループCFO
	2026年7月	事業戦略説明会(第1回) ⁽¹⁾	事業オーナー
	2026年8月7日	27年3月期1Q 決算電話会議	グループCFO
	2026年10月	Special IR Meeting with 社外取締役	社外取締役
IR カンファレンス	主催者		主な登壇者
	2026年2月26日	SMBC日興証券	グループCEO
	2026年2月26日	シティグループ証券	グループCFO
	2026年3月4日	大和証券	グループCFO
	2026年3月9日	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	グループCFO
	2026年5月	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	グループCFO

(1) 27年3月期下半期に事業戦略説明会(第2回)を開催し、年度内に全ての事業オーナーが登壇する予定

グループ会社一覧・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイペット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Daiichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Daiichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Daiichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	47.4%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月

非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA)	[米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分)	1-12月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	4-3月
CP	キャニオン・パートナーズ	[米国] CP New Co	19.9%	1-12月
BO	ベネフィット・ワン		100%	4-3月
	キャプラ・インベストメント	[英国] Capula Investment Management	15%	1-12月
	And Do ホールディングス		15.7%	7-6月
DMRE	第一ライフ丸紅リアルエステート		50%	4-3月
その他				
DLRB	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。